

第6章 カナダの公共図書館

カナダについて論じる際には、まず物理的特性と人口分布について概要を把握しておく必要がある。998万4,670k m²あるカナダは、世界で2番目に面積の大きい国である。しかし、人口は3,250万7,874人であり、世界で35番目である(日本はそれぞれ68番目、11番目である)。つまり、広い面積を有しながら人口の少ない地方が存在する。

比較のために次の表を参照されたい。大トロント地域(カナダで最も広い大都市圏であり北アメリカで4番目に広い、トロントと周囲の4つの地域を含む地域)でも、東京の約3倍の広さがあるにもかかわらず、人口は3分の1しかないことがわかる。

(単位：人、km²)

東京都と大トロント地域の人口と面積の違い

区分	東京都	大トロント地域
人口	12,064,101(2000年)	4,682,897(2001年)
面積	2,187.05(2002年)	5,902.74(2001年)

カナダの州・準州の人口および面積(単位：人、km²)

州・準州	人口(人)	面積(?)
アルバータ州 (Alberta)	3,062,564	661,848
ブリティッシュ・コロンビア州 (British Columbia)	3,869,712	944,735
マニトバ州 (Manitoba)	920,246	647,797
ニューブランズウィック州 (New Brunswick)	527,188	72,908
ニューファンドランド・ラブラドール州 (Newfoundland Labrador)	551,792	405,212
ノースウエスト準州 (Northwest Territories)	41,100	1,346,106
ノバスコシア州 (Nova Scotia)	909,282	55,284
ヌナブト準州 (Nunavut)	24,730	2,093,190
オンタリオ州 (Ontario)	10,963,348	1,076,395
プリンス・エドワード・アイランド州 (Prince Edward Island)	137,980	5,660
ケベック州 (Quebec)	6,499,730	1,542,056
サスカチュワン州 (Saskatchewan)	991,824	651,036
ユーコン準州 (Yukon)	30,776	482,443

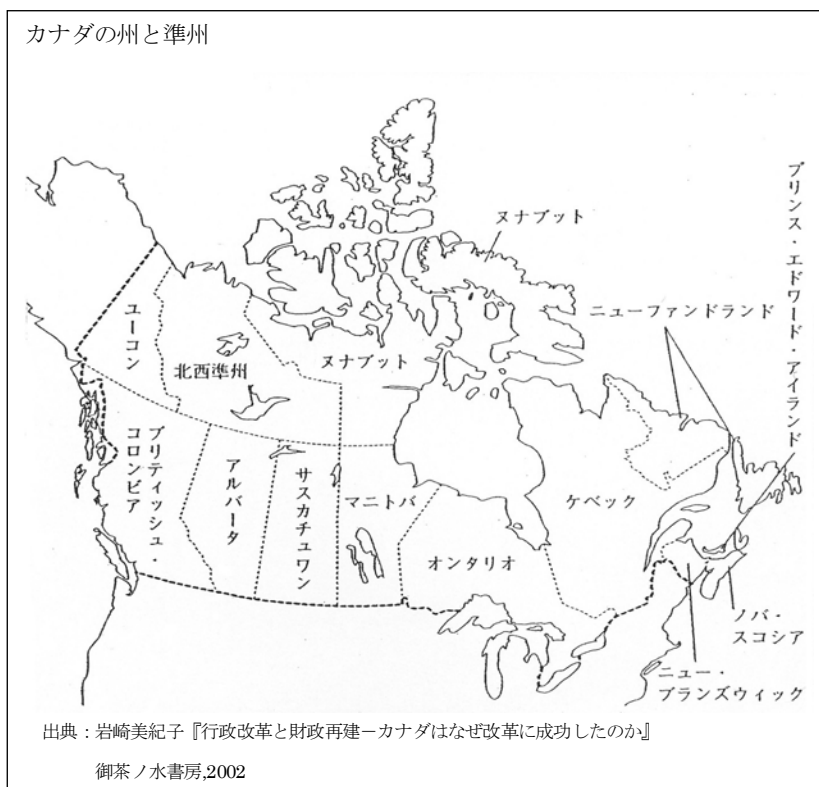
参照：www.statcan.ca/english/Pgdb/phys01.htm

ただしヌナブト準州の人口は1996年の数字。

さらに、カナダには「典型的」な州はないことを念頭におく必要がある。プリンス・エドワード・アイランド州は、人口はちょうど10万人を超えるくらいである。その一方、最も広い行政区は準州であるヌナブト準州であり、人口は約2万5,000人のみ(表では国内で最も少ない人口)である。2番目に広い地域はケベック州であり、人口は600万人を超える。しかし、3番目に広い地域はノースウエスト準州であり、4万1,000人を超える程度である。4番目に広い州であるオンタリオ州は、最も人口が多く、約1,100万人である。

地域の広さと居住人口の幅の大きさは、州・準州レベルにおける行政サービスの比較を非常に困難

カナダの州と準州



なものにしている。

カナダは10の州、3つの準州からなる連邦制をとるが、広さと人口密度に差があるため統一的な地方制度がない。それに加えて、人口の局地的な集中といった問題は、住民への図書館サービスの提供や、図書館の運営に関わる実務について、国内でも大きな違いを生み出している。

カナダの「典型的」な図書館の状況を把握するのはかなり難しい。まず第一に、確実な数字を示すことが難しい。カナダ統計局 (Statistics Canada) は、1972年に年一回の「公共図書館の調査」 (Survey of Public Libraries) の発行を始めたが、1994年にこのサービスを中止した。カナダ国立図書館は、1992年に全国を中心とする全国中核図書館統計プログラム (National Core Library Statistics System Program: NCLSP) を開始することによって損失を補おうとしたが、そのプログラムの最新のレポートは、1999年の数字しかない。2000年以来ミシサーガ公共図書館システム (Mississauga Public Library System) は、大都市公共図書館運営評議会 (Council of Administrators of Large Urban Public Libraries: CALUPL) のために「カナダ公共図書館統計報告」 (Canadian Public Library Statistics Report) を作成しているが、これは5万人以上の人口の都市に対してサービスを提供する図書館を対象とするだけである。最新の図書館統計は、CALUPLの報告とカナダの図書館界の信頼できる部局がおこなったものではあるが、それは、さまざまな基準でおこなわれた調査や研究結果をつなぎ合わせた推定の産物である。

さらに、利用可能な全国統計が少々まぎらわしいものである場合がある。カナダには、非常に大規模な図書館が少しと、多くの中規模の図書館と、とても小さな図書館がたくさんある。たとえば、図書館の収支に関する上下の数字は極端に開きがあり、結局は平均値があまり意味を持たない。

したがって、カナダでは「典型的な図書館」は、とらえどころのないものである。1999年の統計調査によると、カナダの平均的な図書館 (公共、学術、政府といった全ての館種を含む) には、3つのサービスポイント、17人のスタッフメンバー、110万ドル (日本円で8,434万円) の支出がある。オンタリオ州の平均的な図書館は、これらの数字と一致するように見える。ところが、アルバータ州の平均的な図書館が、2つのサービスポイント、9人のスタッフメンバー、45万ドル (日本円で3,450万円) の支出となっている一方で、ニューファンドランド・ラブラドール州の一般的な図書館は17のサービスポイント、38人のスタッフメンバー、360万ドル (日本円で2億7,601万円) の支出がある。州によって、図書館の管理運営方針に多くの違いがあり、さらに「図書館の分館」という概念の解釈が州ごとに異なるため、図書館に関する州ごとのデータにも大きな幅があるという状況になっている。(日本円換算については1999年の為替相場の年平均値、1カナダドル=76.67円として算出。)

つまり、最新統計の不足と大きな地域格差のために、カナダの図書館について一般化するのは大変難しい。カナダの図書館についての以下の概観は、カナダの図書館界の状況を表そうとしたものであるが、前述の要因を念頭において読んでいただきたい。

注1. このレポートにあるすべての金額は、ほかに言及しない限り、カナダドルで示している。

注2. カナダ国立図書館 (National Library of Canada) とカナダ国立公文書館 (National Archives of Canada) は、2004年4月に併合され、カナダ国立図書館・公文書館 (Library and Archives Canada: LAC) になった。本報告では、「国立図書館」は、併合する前のその組織の活動について言及する場合に使用し、「カナダ国立図書館・公文書館」は、一般に組織について言及するとき、もしくは併合したあとのその組織の活動について言及するとき使用している。

1. 公共図書館の位置付けと機能

1. 地方制度と公共図書館の法的・制度的な位置付け

(1) 国と地方の関係、地方自治制度 (州・県・市町村等) について

カナダは10の州と3つの準州からなる連邦制をとるが、地域により広さと人口密度に差があるため統一的な地方制度はなく、州が直接統治している場合と、郡と市町村の2層になっている場合、郡だけの場合、市町村だけの場合など、層構造はさまざまである。

(2) 地方制度の段階(層構造)と、公共図書館のネットワークについて

地方制度が多様なため、公共図書館の法的制度的位置付けも多様で、公共図書館の階層構造も州によって異なる。それぞれの州における地方制度の層構造と公共図書館の層構造が一致しているか否かは不詳である。公共図書館は州政府に属しており、州政府に全責任が任されている。

(3) 公共図書館の設置・運営に関する関連法令の体系と設置運営主体について

図書館行政は各州の自治事項であるが、地方制度が多様なため、公共図書館の法的制度的位置付けも多様である。州レベルでは、公共図書館は各州の独自の図書館法によって管理運営されており、現在の発展に合わせてアップデートしているが、準州にはそれぞれの図書館法はみられなかった。

なお、「ノースウエスト準州法」は1974年に最終改正がおこなわれ、「ユーコン準州法」は1987年に最終改正がおこなわれた。ヌナブト準州(1999年に新しく準州と定められるまでノースウエスト準州の一部だった)は、現在のところ独自の法律を持っていないため、新しい法律が制定されるまで、ノースウエスト準州の古い法律を運用し続けている。

次ページの表は、各州において公共図書館を監督する機関である。2004年現在の状況と、1990年に出された“Canadian Library Yearbook”のリストを比較したものであるが、たいていの州機関は名称を変更し、再編成されていることがわかる。図書館部門はいくつかの州では“教育”局の下に置かれており、“文化”局または“レクリエーション”局の下に置かれる州もある。図書館担当部門を“教育”局から“文化”局へ移した州があれば、逆に“文化”局から“教育”局へ移した州もある。なお、教育制度も各州においてかなり独自なものであり、学校図書館は、一般的に公共図書館と異なる組織で管理されている。

州、準州における図書館担当部門は、一般に以下についての責任を持つ。

- ・ 目的の助言と公共図書館サービスの振興。
- ・ 州・準州において、平等の図書館サービスを行うための資金提供。
- ・ 平等のサービス提供。
- ・ 公共図書館法の発展。
- ・ 法律に従っているかどうかの監視。
- ・ 図書館の管理、要求に関する政府の責務。
- ・ 州、準州の公共図書館における公衆の権利の宣言、説明。
- ・ いくつかの機関が直接図書館サービスを提供。

上記の事項はウェンデ・ニューマン州・準州図書館管理者会議(Wendy Newman Provincial and Territorial Library Director Council: PTLDC)によって立案され、“Public Libraries in the Priorities of Canada”という報告にまとめられている。

州政府は図書館に資金を直接的に、または自治体に交付する。図書館システムの階層構造は州によって異なるが、日本でおこなわれているように、一般的には地方自治体は近隣の自治体と統合して、図書館サービスが保持される傾向にあるとすることができるだろう。

連邦政府は、公共図書館に対し、時折、特別な計画(地域社会のインターネットアクセス等)に対する補助金の提供をおこなう程度である。

連邦レベルでは、公共図書館を所管する独立した部門は存在しない。特定の図書館がカナダの文化遺産部門、カナダの産業、労働力等に関する情報提供を担っているが、連邦レベルで図書館振興を所管する部門はみられない。2001年、カナダ図書館協会(Canadian Library Association: CLA)は、下院財政委員会(House of Commons Finance Committee)に対し、連邦資金を受け入れるカナダ図書館評議会(Canadian Council of Libraries)を創設することが提案されたが、今の時点ではそれに関する回答は得られていない。

各州の図書館監督機関および部門（1990年と2004年の比較）

州名	2004年	1990年
アルバータ州	コミュニティ開発局 図書館・コミュニティ・ボランティアサービス課 Alberta Community Development: Libraries, Community and Voluntary Services Sector Branch www.cd.gov.ab.ca/building_communities/public_library/index.asp	文化・多文化局 図書館サービス課 Alberta Culture and Multiculturalism; Library Services Branch
ブリティッシュ・コロンビア州	コミュニティ・先住民・女性サービス局 地方行政部 公共図書館サービス課 Ministry of Community, Aboriginal and Women's Services, Local Government Department, Public Library Services Branch www.mcaws.gov.bc.ca/lgd/public_libraries/index.htm	自治・レクリエーション・文化局 図書館サービス課 Ministry of Municipal Affairs, Recreation, and Culture, Library Service Branch
マニトバ州	文化・文化遺産・観光局 公共図書館サービス課 Culture, Heritage and Tourism, Public Library Services www.maplin.gov.mb.ca/cgi-bin/maplin.cgi	文化・文化遺産・レクリエーション局 公共図書館サービス課 Manitoba Culture, Heritage, and Recreation, Public Library Services
ニューブランズウィック州	教育局 公共図書館サービス課 Department of Education; New Brunswick Public Library Service www.gnb.ca/0003/index-e.asp	観光レクリエーション・文化遺産局 図書館サービス課 Department of Tourism, Recreation, and Heritage; New Brunswick Library Service
ニューファンドランド・ラブラドル州	州情報・図書館資料局 公共図書館課 Provincial Information and Library Resources Board, Newfoundland and Labrador Public Libraries www.publib.nf.ca	地方・州事業局 公共図書館サービス課 Department of Municipal and Provincial Affairs; Newfoundland Public Library Services
ノースウェスト準州	教育・文化・労働局 教育事業開発部 公共図書館サービス課 Department of Education, Culture and Employment; Education Operations and Development; Northwest Territories Public Library Services www.nwtpls.gov.nt.ca	文化コミュニケーション局 公共図書館サービス課 Department of Culture and Communications; Northwest Territories Public Library Services
ノバスコシア州	教育局 高等教育部州図書館課 Department of Education; Higher Education Branch; Nova Scotia Provincial Library www.library.ns.ca	教育局 州図書館課 Department of Education; Nova Scotia Provincial Library
ヌナブト準州	文化・言語・高齢者青少年局 文化・文化遺産部 公共図書館サービス課 Department of Culture, Language, Elders & Youth; Division of Culture and Heritage; Nunavut Public Library Services www.gov.nu.ca/education/eng/nplscap/npls	(ヌナブト準州は1999年に誕生した)
オンタリオ州	文化局 文化遺産・図書館部図書館課 Ministry of Culture; Heritage and Libraries Branch, Libraries Unit www.culture.gov.on.ca/english/culdiv/library	文化コミュニケーション局 図書館・コミュニティ情報部 Ministry of Culture and Communications; Libraries and Community Information Branch
プリンス・エドワード・アイランド州	コミュニティ・文化事業局 州図書館サービス課 Department of Community and Cultural Affairs; Provincial Library Service www.library.pe.ca	教育局 州図書館課 Department of Education; Provincial Library
ケベック州	文化コミュニケーション局 Ministère de la Culture et des Communications www.mcc.gouv.qc.ca	文化事業局 公共図書館課 Ministère des Affaires Culturelles; Direction des Bibliothèques Publiques
サスカチュワン州	学習局 州図書館課 Saskatchewan Learning Department, Provincial Library www.lib.sk.ca	教育局 州図書館課 Saskatchewan Education; Provincial Library
ユーコン準州	コミュニティサービス局 コミュニティ開発部 公共図書館課 Department of Community Services; Community Development Branch; Yukon Public Libraries www.gov.yk.ca/depts/community/general/serviceyukon.html	教育局 公共図書館サービス課 Department of Education; Public Library Services Unit

(4) 公共図書館に対する国家レベルの体制と方針について

2004年4月、別々に存在した国立図書館と国立公文書館が統合され、現在では「カナダ国立図書館・公文書館（LAC）」と呼ばれており、オタワに置かれ、カナダ政府によって運営されている。LACは以下の権限を持つ。

- ・将来の世代のためにカナダの文化遺産の記録を保護する。
- ・カナダの文化、社会、経済の促進等を含む全ての永久的な知識へのアクセス源となる。
- ・カナダにおけるコミュニティ間協力において情報の入手、保存、普及を促進する。そして、カナダ政府とカナダの制度に関して記録を継続して提供する。

連邦レベルにおいて唯一図書館に関連した法律は、この「カナダ国立図書館・公文書館に関する法律（Library and Archives of Canada Act）」（2004年4月）だけである。ただし、この法律により、カナダ政府はカナダ国立図書館・公文書館に対し、カナダにおける先端的図書館活動を展開し、情報関連計画を作成する権限を与えている。参考までに「カナダ国立図書館・公文書館に関する法律」より一部を抜粋する。

法律前文

この制度は、カナダにおけるコミュニティ間協力に関する情報の入手、保存、普及を促進する。

7. カナダ国立図書館・公文書館の目的は、(略) 図書館とコミュニティの公文書館の発展の支援にある。
8. 図書館司書、公文書館員は、カナダ国立図書館・公文書館の目標達成のために貢献するように行動するべきであり、それは、(略) 専門技術の提供、保存に関する財政援助、文化遺産の記録の普及促進、文化遺産へのアクセス方法を提供することが含まれる。

つまり、LACはカナダの図書館界を規律するわけではないが、提供されるサービスは政府によって目的が統一されている。また、政府の特別委員会に参加し、法案の提出をおこなったり、図書館関係者のための政府への窓口となったりしており、図書館サービスの改善、州を横断した資料収集などの仕事もおこなっている。つまり、LACは政府の一部門であり、それゆえ明確な活動への働きかけに従事することはできず、非公式ではあるが、図書館界の利益のために活動をおこなっている組織だといえる。

図書館政策については、数年間にわたり、いくつかの国家的戦略の推進がみられた。その中で最も明確なものは、地域連携についてである。世界で最も地域連携の進んだ国を目指すというのが国家戦略である。

その地域連携の指針の一つが、コミュニティ・アクセス・プログラム（CAP）である。CAPは図書館に補助金を提供する。大抵は都市圏から離れた地方の図書館に、インターネットに接続するコンピュータを整備するために使われる。

一方、図書館はイギリス王室の声明にも注意を払っている（王室の声明は新しい国会が開会されるたびにカナダ総督によって出される）。カナダ図書館協会（CLA）はイギリス王室のスピーチの中で図書館関係に言及したもの（リテラシー、インターネット接続のような関連する項目）が出されていないか注視しており、図書館関係者に関連する声明についての解説を作成し、メーリングリストによって配信している。つまりカナダの図書館関係者は、政府が図書館に関する戦略や目的を明確に言及することを待ってさえいる。図書館に関する通達が出されていないか積極的に探索する傾向にある。

連邦レベルの図書館としては、議会図書館も存在する。これもオタワに置かれ、法に定められた適切な支援を公共図書館に対して提供している。下記の記述はウェブサイトから引用したものである。

「議会図書館の使命は、議会に対し、時宜にかなった、包括的で信頼性のある情報、記録、調査、分析の提供、高価で貴重なコレクションに対する法律の機能と説明の支援を提供することであり、カナダ議会についての情報を公衆に提供することである」。

2. 公共図書館の数

(5) 地方自治制度の段階別の公共図書館数（分館・サービス拠点を含む）について

地方自治体は、それぞれの地域内の図書館に関して運営方針を定めており、それにしたがって、それぞれの図書館が個々に図書館サービスをおこなっている。連邦政府には全国の図書館を管轄する省庁がないため、恒

常的にも組織的にも図書館に関する統計データを収集している機関は無い。カナダ国立図書館が管轄する全国中核図書館統計プログラム（National Core Library Statistics Program: NCLSP）が1994年から1999年までの間、定期的に統計報告書を発行していたが、1999年以降は、新しい分野を含めた包括的な報告は試みられていない。『カナダの書籍出版産業事情』（In a Consideration of the Canadian Book Industry）（2000年6月）では、かつてカナダ国立図書館の司書であったロック・キャリアー（Roch Carrier）氏が「カナダの図書館統計は貧弱だ」と述べているが、それは、図書館で利用できる統計はいくら良くても参考程度にしかならないからである。

1999年の統計報告書には、次の記述がある。

- ・ 910の公共図書館、2,739のサービス拠点がある。
- ・ 州立図書館5館、準州立図書館3館で、州および準州レベルでは計11のサービス拠点がある（カナダでは、州は10、準州は3存在している）。
- ・ 国立図書館は1館である。

(6) 地方自治制度の段階別の公共図書館設置率について

ほぼ全ての国民が、公共図書館や分館、メールプログラムを利用していると思われる。1999年には、公共図書館は都市部に住む285万人、もしくは人口の93%の人が、公共図書館を利用しているとみられる。以下は、州別の図書館サービス拠点数と居住人口のデータである。なお、1999年のデータが無い場合は別の年のデータを用いているため、例えば図書館の数は、合計すると921館となる。これは、(5)で示した1999年データの合計910館に、ヌナブト準州の2004年のデータを加えた数である。

州別の図書館サービス拠点

州	図書館及びサービス拠点の数			人口	1館当り人口
	図書館	サービス拠点			
アルバータ	567	245	322	3,062,564	5,401
ブリティッシュ・コロンビア	303	71	232	3,896,712	12,860
マニトバ	53	53	—	920,246	17,363
ニューブランズウィック	70	5	65	527,188	7,531
ニューファウンドランド	97	1	96	551,792	5,689
ノースウエスト準州	10	1	9	41,100	4,110
ノバスコシア	96	1	95	909,282	9,472
ヌナブト準州（※）	11	11	—	24,730	2,248
オンタリオ	1,598	350	1,248	10,963,348	6,861
プリンス・エドワード・アイランド	26	1	25	137,980	5,307
ケベック	171	171	—	6,499,730	38,010
サスカチュワン	419	10	409	991,824	2,367
ユーコン準州	15	1	14	30,776	2,052
合計	3,436	921	2,515	28,557,272	119,271

注：ヌナブト準州については、図書館数は2004年数値、人口は1996年数値。他は1999年の数値。

(7) 複数の自治体にまたがる図書館ネットワーク、コンソーシアム等について

全ての州に図書館ネットワークシステムがある。しかし、図書館の設置数、システムにおける図書館間の協力方法は州によって異なる。ニューブランズウィック、ノースウエスト準州、ノバスコシア、ヌナブト、サスカチュワン、ユーコン各州では、州レベルのシステムが存在する。

以下は、その図書館ネットワークシステムの名称である。ただし、州内の全ての図書館がこれらのシステムに属しているわけではない。カッコ内の数字が、システムに所属する図書館の数である。（『カナダ図書館録 2002・2003』による）

アルバータ州

- Chinook Arch Regional Library System (24)
- Marigold Library System (30)
- Northern Lights Library System(31)
- Parkland Regional Library (41)
- Peace Library System (29)
- Shortgrass Library System (6)
- Yellowhead Regional Library (42)

ブリティッシュ・コロンビア州

- Cariboo Regional District Library (15)
- Fraser Valley Regional Library (23)
- Okanagan Regional Library (29)
- Tompson-Nicola Regional District Library System (14)
- Vancouver Island Regional Library (37)

マニトバ州

- Border Regional Library (4)
- Evergreen Regional Library (2)
- Lakeland Regional Library (1)
- Parkland Regional Library (17)
- South Central Regional Library (3)
- Southwestern Manitoba Regional Library (2)
- Western Manitoba Regional Library (3)

ニューブランズウィック州

- Albert-Westmorland-kent Regional Library (14)
- Chaleur Library Region (11)
- Region de Bibliothèques Haut-Saint-Jean (6)
- Saint John Regional Library(9)
- York Library Region (20)

ニューファンドランド州

- Provincial Information and Library Resources Board-Central Division (33)
- Provincial Information and Library Resources Board-Eastern Division (29)
- Provincial Information and Library Resources Board-Western Newfoundland Division (33)

ノースウエスト準州

- NWT Library Service (8)

ノバスコシア州

- Annapolis Valley Regional Library (11)
- Cape Breton Regional Library (13)
- Colchester-East Hants Regional Library (3)
- Eastern Counties Regional Library (7)
- Halifax Regional Library (14)
- Pictou-Antigonish Regional Library (7)
- Western Counties Regional Library (10)

ヌナブト準州

- Nunavut Public Library Service (11)

オンタリオ州

- Ontario Library Service North-Kirkland Lake (21)
- Ontario Library Service North-Sudbury (60)
- Ontario Library Service North-Thunder Bay (26)
- Southern Ontario Library Service (177)

プリンス・エドワード・アイランド州

- Prince Edward Island Provincial Library service (25)

ケベック州

- Centere Regional de Service aux Biblioteques Publiques de L'Abitibi-Temiscamingue (71)
- CRSBP du Bas-Saint-Laurent (94)
- CRSBP de la Cote-Nord (35)
- CRSBP de L'Estre (6)
- CRSBP Gaspesie-Iles-De-La-Madeleine (52)
- CRSBP des Laurentides (61)
- CRSBP de la Mauricie , Boys-Francis, Lanauriere (140)
- CRSBP de la Monteregie (80)
- CRSBP de L'Outaouais (49)
- CRSBP de Quebec et Chaudieres Appalaches (120)
- CRSBP du Saguenay-Lac-St-Jean (51)

サスカチュワン州

- Chinook Regional Library (35)
- Lakeland Library Region (34)
- Palliser Regional Library (20)
- Parkland Regional Library (61)
- Southeast Regional Library (50)
- Wapiti Regional LiBrary (55)
- Wheatland Regional Library (44)

国の公式オンライン目録は、全ての州にある。しかし、それがカバーしている範囲は州によって異なる。

また、LACはカナダ国内1,300館の図書館の3,000万を超える記録のデータベースであるAMICUSと、カナダ国内の横断検索と州や地区（西部、中部、太平洋）内の検索を容易にしたバーチャル・カナディアン・ユニオン・カタログ（virtual Canadian union catalogue: vCuc）を作成している。vCucはかなり多くの公共図書館を含んでいるが、大部分は学術図書館や研究図書館である。

3. 公共図書館サービスの基本理念、原則について

(8) 図書館に対する一般国民の意識、公共的な文化施設としての認識の状況

1998年の「市民レポート」(1998 Citizens First Report)によると、公共図書館サービスは市民が最も必要とする公共サービスとして、民間部門のサービス(11位)、市役所のサービス(17位)、国・州政府のサービス(20位)をはるかにしのぎ、消防署に次ぐ2位となっている。公共図書館は人々に愛されているとすることができる。

NCLSP(全国中核図書館統計プログラム)と「デビデنز(Dividends):カナダにおける公共図書館の価値」と呼ばれるレポート(以下「デビデنز・レポート」)は、カナダの人々がどのように図書館を見ているかという問いに対する答えを提供している。

カナダ国民に「あなたにとって図書館とは何ですか?」と尋ねたとき、驚くほどいろいろな答えが返ってくる。ある人にとっては、図書館は人生に不可欠な職業の情報を探す場所であり、リテラシー教育の場であり、宿題や新しく定められた法律、医学や財政のニーズに関する情報を見つける場所であり、子どもにとっては生涯学習の場として付き合っていくことになる場であるし、インターネットへの接続もでき、本を見つけて、借りて楽しむ場でもある。

デビデنز・レポートには「どのように『良く使われている図書館』が国内に存在しているかという例がたくさん出ている」とある。以下にいくつかの例を示すが、カナダ国民の図書館に対する評価がうかがえる。

○アルバータ州

アルバータ州の住民の10人中9人が、図書館を「欠くことの出来ないサービス」で、地域に絶対必要なものであると見なしている。(Calder Bateman Communications Ltd. 1991, p.26)

○オンタリオ州

住民の96%が公共図書館を、「とても」もしくは「やや」地域にとって有益なものだと思っている。1990年の「オンタリオ州における教育についての研究 (Ontario Studies in Education)」という調査では、回答者に、リスト上の7つの教育的、文化的施設(学校を除く)が生徒にとってどれくらい重要かをランク付けさせた。公共図書館は、回答者の75%が1位にランク付け、小学校を出る前の経験として子どもにとって「とても重要」と評価した。(Ontario Public Library Service North, 1993, p.9)

○ノバスコシア州

ノバスコシア州の住民は、一般に公共図書館を不可欠なサービスと見ている。……4分の3以上の住民が公共図書館は不可欠だとしていて……(中略)……必要ないと答えているのはわずか1%である。(Omnifacts Peserch Ltd, 1996, p. ii) CLAの資料(The CLA Task Force Submission on Libraries to the Innovation Strategy)では、「住民はインターネットを使うために公共図書館に来るのを好むということを実証した」と述べている。理由はいろいろあるが、利用時間、たくさんのワークステーションが利用できる、インターネットの手助けをしてくれる、知識豊富なスタッフがいる、といったことなどがある。

(9) 公共図書館サービスの基本理念、一般原則について

個々の州の図書館法令がカナダの図書館法の役割を果たしている。州ごとの図書館法令は異なるが、一般には州ごとに市レベルの図書館の創設や地方システムについて定めており、図書館員、図書館管理者の役割および責任と、さまざまな料金について定められている。

ブリティッシュ・コロンビア図書館の規則46は次のとおりである。

- (1) 図書館委員会は次の料金を徴収してはならない。
 - (a) 市民に提供する目的をもつ図書館建物の使用許可
 - (b) 図書館資料の使用
- (2) 図書館委員会は次の業務を無料でおこなうため、図書館サービスの提供に必要なすべての業務に関し、職員を配置しなければならない。
 - (a) 図書館資料、その図書館に所蔵される資料の貸出業務
 - (b) レファレンス業務、情報提供サービス
- (3) 図書館委員会は、前項に掲げられた業務のうち、無料で提供されることが必要でないサービスに対しては代金を請求してもよい。

上記は一例であるが、このほかにも、図書館の無料原則にもかかわらず、貸出資料の延滞金の徴収、資料の物理的な損傷や損失に関して罰金を徴収すること、複写料金を徴収することなどを図書館の規定で定めている例がある。

一方、図書館利用料金に関し、ブリティッシュ・コロンビア図書館規則と異なった規則をもつ地域がある。それはアルバータ州とケベック州である。無料原則のガイドラインは、1994年の「ユネスコ公共図書館宣言」(UNESCO Public Library Manifesto)によって宣言され、カナダでも公共図書館協会および図書館協会によって宣言された(2002年)ものであるが、しかしながら、アルバータ州とケベック州の図書館の大半は資料の貸出に“料金”を徴収している。アルバータ州では、料金は0ドルから24ドル(2001年)に及び、また、図書館の30パーセント以上が子供料金を設定していないため、大人料金と同等に徴収していると推測される。

「アルバータ図書館規則」(Alberta Libraries Act)では、図書館資料の貸出の際、市民に料金の支払いを要求する条例または条例の一部は無効だとしながらも、貸出カードの発行料を含む図書館業務の安全性の保守のためには、その限りではないとしている。

ただし、アルバータ州の中でも、バンフ公共図書館は、2000年1月に地元住民に貸出カード発行のための料金を課さないと決め、これにより、地元住民に無料図書館サービスを提供する最初の公共図書館となった。それまでは、バンフの住民は貸出カードを所有するのに10ドルを払わなければならなかったのである。バンフ公共図書館は、バンフの試みに従うよう、州の他の図書館を説得しようとした。2001年に行われた調査によると、図書館員の91.7%が図書館への自由なアクセスを支持している。しかし、州・市政府からの図書館費が減少しているため、当分の間は料金制度の存続が望まれているという状況である。

なお、カナダにおける出版産業全体の売上高と、図書館の全体の購入費は、次のとおりの状況である。カナダ書籍産業 (Canadian Book Industry) によると、1996～97年の出版産業全体の売上げはほぼ20億ドル (日本円で1,596億円) であるといわれている。図書館全体では、1年当たり20億ドルから40億ドルが費やされており、1996年はそのなかの約3億2,000万ドル (日本円で255億2,960万円) が資料の収集に費やされたと推測される。ちなみに、1998年「カナダ公共図書館統計報告」によれば、大規模な公共図書館全体で約6,600万ドル (日本円で52億6,548万円) を新しい図書館資料の購入に費やした、となっている。詳細は不明であるが、60数館の合計と思われる。(本項目の日本円換算については、1996年は1カナダドル=79.78円/1998年は1カナダドル=88.24円として算出。)

(10) 著作権の保護、図書館の公共貸与権、出版社への保障などについて

カナダの著作権法は、教育機関、図書館、アーカイブおよび博物館のため特例を持っている。それによると、図書館は、写真複写機の近くに自らの義務を利用者に知らせるため、次のような掲示をしなければならない。

“警告”

著作権により保護された著作物を複写するときは、次の場合のみ認められます。

- (a) 著作権法で認められた公正利用、またそこで認められる特定の例外的な複写。
- (b) 著作物の権利者による複写。
- (c) 複写についての許諾を受けた場合による複写。

認可される複写の詳細は、ライセンス約款あるいは適用される関税を調べてください。または、図書館職員に適切な情報を求めてください。

著作権法は、市民が著作権を侵害することのないように規定しています。

公正利用は、個人の研究、批評あるいは調査のために複写を行うことができると規定している。また、非営利な目的にかぎり、出所の明確なニュース報道のための複写を認めている。

図書館が単に複写の実費を徴収することは「営利活動」とはみなされない。また、貴重書や出版されていない著作物が劣化などにより消失の危険にある場合、図書館はそれらを複製することができる。さらに、オリジナルのフォーマットが旧式になり再生できなくなる可能性がある場合、図書館はそれらを新しいフォーマットに変換することができる。すでに絶版となった著作物については、オリジナルと複製の2種類を図書館は所持することができる。

公共図書館は、特定の複写のための「あらかじめ承認」を得るためにアクセス著作権ライセンス (Access Copyright License) に署名することができる。ライセンスの下では次のものをコピーすることができる。公表された著作物の10%まで、あるいは下記以内までの複製が認められる。

- ・新聞記事かそのページの全体
- ・時事問題に関する記事の全体
- ・一編の詩、短編小説、演劇またはエッセイなど、他の著作物からの定期的な連載
- ・定期刊行物などに掲載される法的な報告書
- ・一冊の本全体の20%以下、またはひとつの章の全体
- ・他で公表された本、または定期刊行物からの芸術的に再生産された著作物

このライセンスへの署名によって、図書館がその条項を遵守する限り、著作権侵害のクレームに対して図書

館の活動は保証され、著作権者の権利にたいして補償が支払われる。

各州は、著作権に個別に対処している。たとえば、アルバータ州では多くの公共図書館が上記のようなアクセス著作権ライセンスを保持している。しかしながら、ブリティッシュ・コロンビア州では、州の図書館機関が、州内のすべての公共図書館を代表しアクセス著作権への協定を持っている。プリンス・エドワード・アイランド州では、州の図書館サービスとしてライセンスに署名している。しかし、州には複写機は4台しかない。

カナダは世界知的所有権機関（WIPO）の条約をまだ批准していない。カナダ文化遺産省（Department of Canadian Heritage）の常任委員会は、直ちに「著作権に関する世界知的所有権機関条約（WIPO Copyright Treaty: WCT）」および、「実演家とレコードに関する WIPO 条約（WIPO Performances and Phonograms Treaty: WPPT）」を批准するように求めている。

公共貸与権については、カナダでは1986年から採用されている。カナダの公共貸与権は、カナダ文化遺産省によって資金が提供される公共貸与権委員会（Public Lending Right Commission）によって処理される。公共貸与権委員会は、著者、図書館員および出版者から構成された独立の組織である。また、公共貸与権はカナダ著作権法の一部ではないことに注意されたい。2002年には13,269人の著者が50,878のタイトルの補償を受けている。そして、公共貸与権のための年間の予算の合計は1,003万ドル（日本円で8億140万円）であった（出版社ではなく著者個人に償われることに注意されたい）。支払い額および上限は毎年予算によって決定されている。2002年では、最大が3,675ドル（日本円で29万3,633円）で、また、平均の支払いは727ドル（日本円で5万8,087円）であった。（日本円換算は2002年の為替相場の年平均値、1カナダドル=79.90円として算出。）

公共貸与権委員会は、公共貸与権に関するいっさいの責任を保持している。申請書は、一定の期間（2月15日～5月1日）内に年単位で委員会に提出される。申請者はカナダの市民であるが、カナダの居住者である必要はない。本は、少なくとも48ページ以上（児童書の場合24ページ）で、詩、フィクション、ドラマあるいはノンフィクションが該当するが、ガイドブック、ディレクトリー、教科書、報告書などを含む多くの例外が定められている。

公共図書館や学術図書館では、それぞれの図書館の蔵書が保持されるかどうか決定するために、毎年7月と8月に蔵書目録の標本調査が行われる。各図書館によって所蔵される本の複製物はオリジナルと同等なものとはみなされない。その複製が適正で、少なくとも1冊の本が図書館で見つけられる場合、著者は次の2月までに支払いを受け取る。また、遡及支払をすることはできず、著者が死亡すると補償は終わる。

(11) 貸出開始時期を遅らせるなどの著作者への配慮について

カナダの図書館は、著作権法に従いアクセス著作権許可の代価を支払っているため、著作者に対する追加の配慮は特別には行っていない。

(12) 個々の公共図書館の使命（ミッション・ステートメント）について

この問題についての研究はまだおこなわれていないため詳細は不明であるが、多くの図書館が使命についての文書を作成し、そのほとんどは公表されている、と考えられる。次に示すのは、公共図書館のウェブサイトで見ることのできるミッション・ステートメントの例である。地域コミュニティへの情報ニーズに応えることは、図書館の使命の最も重要な部分だと考えられる。

○リッチモンド公共図書館（ブリティッシュ・コロンビア州）

リッチモンド公共図書館の使命は、学術的、文化的、レクリエーションに関する情報やサービスを、様々な形式および技術で提供することである。そして、情報への自由なアクセスを支援する。

(www.yourlibrary.ca/aboutus_sub.cfm?lev1=3&lev2=1)

○ケープブルトン地域図書館（ノバスコシア州）

ケープブルトン地域図書館の使命は、ケープブルトンの文化財のために、そして読書を通じて住民に楽しみを与えるために、生涯学習を支援し、子どもに読書の手ほどきをし、想像を刺激するアイデアの源を提供する情

報拠点としての役割を果たすことである。

(www.cbri.ca/internet/usepolicyform.html)

○アクスブリッジ・ゼッファー公共図書館（オンタリオ州）

アクスブリッジ・ゼッファー公共図書館は、読み書きの能力や知識の獲得、文化的、そして生涯学習を促進するのに役立つ地域住民に開かれたコミュニティ資源である。

(www.uxlib.com/mission.html)

起業支援、就職支援のための情報提供として、カナダの図書館は、企業家と求職者のための情報を、すべての人々が利用できるようにしようとしている。そのような利用者について特に図書館の使命のなかでは言及されないかもしれないが、ビジネス支援は図書館のニーズに確かに含まれている。

図書館は、特別に就職情報一覧を作成しなくても、インターネット端末を提供することで、そのニーズを補完している。産業省は、国民が図書館、学校およびコミュニティ・センター経由でインターネットに手軽に接続できるように、コミュニティ・アクセス・プログラム（CAP）を定めた。CAPの目的は、カナダを世界で最もインターネットに接続している国家にすることである。多くの図書館は、職業データベース、および経歴に関するツール（人的資源および職業訓練省（Human Resources and Skills Development Canada）のウェブサイト上で提示されている）のようなサイトに、利用者だれもがアクセスすることができるよう、CAPを導入している（ただし、CAP予算は2004年に大幅に縮小された）。

いくつかの図書館は、求職者のための特定の部門を持っている。例えば、ミシソーガ公共図書館は、職業、教育の立案および仕事探しについての広範囲な情報を職業資源センター（Career Resource Centre）を通じて提示している。さらに、オンタリオ州では、雇用資源センター（Employment Resource Centre）のサービスを提供するために職業訓練省との協力関係を築いている図書館もある。

(13) 地域社会の情報ニーズの定期的な調査などについて

詳細は不明である。

2. 公共図書館の運営・経営の体制

1. 設立主体と運営主体の状況と管理運営・経営の責任体制と経費負担

(14) 公共図書館の整備や運営費の負担について

図書館は、一般的にはそれぞれの州の図書館法に基づき、市町村により設置されている。新たな図書館設立に対して、連邦政府は大抵の場合直接的な支援はしないが、州政府が関与する場合は多い。つまり図書館は、一般的に、州政府からなんらかの支援を受ける市町村により設立・運営されている。状況が異なるのはプリンス・エドワード・アイランド州であり、ここでは、州政府が図書館職員と蔵書に資金を出し、市町村が建物と内装を整備している。

連邦政府の資金は、定期的な基盤として利用することはできず、特別なプロジェクトのためにだけ用意されている。例えば、図書館が連邦政府のヤング・カナダ・ワークス・プログラム（www.pch.gc.ca/ycw-jct/）を利用し、サマージョブやインターンシップで生徒や若い大学生を雇用する場合などである。図書館はまた、自ら複写費や貸出延滞金により、いくらかの歳入を稼ぎ出している。「図書館友の会」（Friends of the Library）やその他の資金援助グループもまた、図書館財政に貢献している。

「2003年カナダ公共図書館統計報告」（Canadian Public Library Statistics 2003）は、都市部の大規模な公共図書館に関して、回答のあった図書館全体での歳入規模を下記のように示している。

カナダ公共図書館統計における公共図書館の歳入源

歳入源	合計金額 (ドル)	割合 (%)
市町村行政	509,461,984	84.2
州政府	52,723,065	8.7
連邦政府	3,336,532	0.6
図書館	28,411,709	4.7
寄付	4,817,235	0.8
その他	6,536,639	1.1
合計	(※) 607,287,164	100.0

注：(※) ただし報告では、総額は 607,861,053 ドルの値が示されている。

IMF の *International Financial Statistics Yearbook 2004* より、2003 年平均で 1 カナダドル=82.74 円。

寄付と図書館歳入費は、規模の小さい図書館ほど比重が高くなると考えられる。

現在ノバスコシア州立図書館の館長であるエリザベス・アームストロング (Elizabeth Armstrong) は、同州立図書館の図書館財政について次のような説明をしている。

地域内の図書館財政計画については、図書館法 (Libraries Act) に基づく条例に規定されている。地域の図書館委員会は、その委員会に参加している州と市町村による共同資金で運営されている。それぞれの図書館委員会は、州と市町村の間で事前に決定された割合に基づいて分配される予算額を、会計年度ごとに頭割り (住民数見合い) で受け取る。市町村分配分は参加している市町村会議の間で人口に基づき分配される。それぞれの地域の図書館委員会は、年間運営予算の分配の増額を要求される。ある市町村委員会は、法律で定めた分配以上に支援したり、ある域内の図書館委員会は要求された額を超え資金を増額しているところがある。

地域の図書館委員会は、この基金から全ての図書館サービス費用を支払う。委員会本部の運営費、人件費、資料費、行事費、移動図書館費など。分館を持つ市町村委員会は、設備費用とその運営、維持管理の費用を支払う。

(Libraries Act: www.gov.ns.ca/just/regulations/regs/libfund.htm)

また、プリンス・エドワード・アイランド州立図書館サービス (Prince Edward Island Provincial Library Service) のアレン・グローエン (Allen Groen) は、同州の制度について次のように説明している。

プリンス・エドワード・アイランドでは、州政府が公共図書館制度を支える資金の大半をまかなっている。市町村が図書館設備を運営する支援として用意している州の制度や税制のほか存在する補助金はない。

カナダ統計局の「文化政策への政府支出」の報告によれば、2000 年から 2001 年の間に、様々なレベルのカナダの行政が図書館施策に費やした費用は、20 億ドル以上だとされている。この報告は、全ての館種を含んでおり、公共図書館だけではない。数字は下記のとおりである。

自治体の図書館施策関連費用 (2001 年～2002 年)

行政のレベル	金額 (ドル)	割合
市町村	1,250,027,000	60.0%
州	777,344,000	38.0%
連邦政府	39,896,000	2.0%
合計	2,067,267,000	100.0%

注：公共図書館以外の図書館も含む。

IMF の *International Financial Statistics Yearbook 2004* より、2001 年平均で 1 カナダドル=78.47 円。

しかし、注意すべきは、支払移し替え制度 (Transfer Payment System) の適用である。この仕組みでは、連邦政府がさまざまな社会計画とインフラ整備をサポートするために、州にお金を移し替え、それが州の財源となる。同様に州は地方自治体に対してお金を移し替え、それが自治体の財源の一部となる。このため、連邦レベルで図書館のために費やされたとされている 39,896,000 ドルとあっても、そのうちの一部はそのまま州政府に移し替えられたかもしれない。また、州レベルで費やされたとされている金額についても、部分的に自

治体に移し替えられたかもしれない。つまり、各レベルで支出されたとされる金額のどのくらいが実際にそのレベルで使われたのか、あるいはどのくらいが上位システムからスルーしてきたものなのか、明確にはわかりにくくなっている。

(15) 図書館の建設整備に PFI など、民間資金活用の試みについて

図書館は市町村レベルで設置運営されるため、個々の図書館設立に際してどのような資金提供があるかなどといった事柄について一般化することは困難である。明確な州の制度がある州（例：プリンス・エドワード・アイランド州は1つの図書館が25の分館を持つ）においては、図書館設立に際し、私的な資金は募集しない。他の州においては、図書館設立とそのサービス維持のための支援について、地域コミュニティに訴える必要があると思われる。

(16) 公共図書館の運営を民間に委託することについて

カナダでは、私企業に完全に業務委託をしている公共図書館は存在しない。民間からの寄付を主体とし、行政からの資金は予算の21%である非営利組織のカナダ全国視覚障害者協会（Canadian National Institute for the Blind: CNIB）は、視覚障害者図書館（CNIB Library for the Blind）を運営している。CNIBは印刷メディアの利用に障害があるカナダ国民に対するサービスを用意し公共図書館を支援している。詳しくは(37)を参照されたい。

(17) 各段階の公共図書館の経営・運営の責任者について

一般的に、公共図書館は図書館委員会により選任された図書館長により運営されている。しかしながら、これは全ての図書館にあてはまることではない。例えば、プリンス・エドワード・アイランド州においては、ある図書館の長は州政府の管轄下にあるディレクターに対し、報告義務を負っている。この州では、分館レベルの委員会があるが、分館は委員会に対して責任を負わない。

一般に、市町村は図書館委員会に対し報告義務がある。図書館委員会は、一般的に図書館長を選任する責務があり、明確な図書館政策を設定する責任も有する。図書館委員会は、しばしば政治家をメンバーに含んでいる。図書館委員会は、図書館長により設定された予算を承認する（予算はまた、地方政府によっても承認されなければならない）。

図書館長は、ほとんどが専門的な資格を有する司書である（資格についての詳細は(41)(42)などを参照されたい）。図書館長は、職員を選び、図書館を運営し、図書館委員会の施策を実行するための責任を有している。また、図書館政策において多大なる役割も担っている。

図書館長と信託を受けている図書館委員会の両者は、地域コミュニティにおいて図書館を代表している。彼らは、地域コミュニティに対する図書館の重要性を継続的に強化するため、地域コミュニティのビジネス界や政界のリーダーにと接触をもっている。十分な資金を得るための図書館の能力は、しばしば図書館委員会と図書館長の政治的な力に依存している。

(18) 館長の経営手腕を評価するシステム、監督者が重視する評価項目について

信託を受けている図書館委員会は、図書館長の職務遂行能力を監督している。図書館長を評価する方法は、それぞれの図書館に任されている。

ブリティッシュ・コロンビア州の「州立図書館委員会ハンドブック」（British Columbia Library Trustees Association Handbook）の例では、以下のように示されている。（www.bclta.org/handbook.html）

正式な書面による評価は、図書館長と図書館委員会間のコミュニケーションを成り立たせる大切な手段として極めて重要な運営実務である。図書館委員会は、業務の実態を正しく認識することができるため、適切に活動することができ、資金を提供している役所やコミュニティに対し責務を果たしていることを明らかにすることができる。

このハンドブックはまた、図書館長がある定められた期限の範囲内で成し遂げるべき明確な目標を提案することを推奨している。図書館長は進行状況について定期的に報告を提出しなければならない。目標が達成されたとき、図書館委員会は図書館長を評価し（書面により）、図書館長には評価に対して応答する機会を与える。

2. 図書館運営に関する年間経費の総額と資金負担の状況

(19) 各段階の公共図書館年間予算総額と、1館当りの平均年間予算額について

カナダにおける図書館は、予算とその規模において広範な多様性を誇っている。以下に都市部の大型公共図書館を比較する。

都市部の大型公共図書館の歳入費・歳出費

図書館名	人口（人）	歳入費計（ドル）	歳出費計（ドル）
トロント準州立公共図書館 （オンタリオ州）	2,481,494	138,229,626	138,229,626
エドモントン準州立公共図書館 （アルバータ州）	666,104	25,987,761	25,358,453
ハリファックス準州地域図書館 （ノバスコシア州）	359,183	15,388,200	15,288,300
ビクトリア準州立公共図書館 （ブリティッシュ・コロンビア州）	287,020	10,434,539	10,307,245
サスカチュワン州立公共図書館 （サスカチュワン州）	210,312	11,270,259	11,109,771
生活・図書サービス館 （ケベック州）	126,000	3,235,949	3,235,949
ナイアガラの滝公共図書館 （オンタリオ州）	79,700	3,013,182	2,969,718
メディスンハット公共図書館 （アルバータ州）	51,249	1,727,790	1,626,768

資料：「2003年カナダ図書館統計報告」

この2003年の報告では、都市部の大型公共図書館の歳入費の範囲は、オンタリオ州のトロント準州立公共図書館（人口2,481,494人）の138,229,626ドル（日本円で114億3,712万円）からノバスコシア州のサウスショア地域図書館（人口61,185人）の983,468ドル（日本円で8,137万円）まで多岐にわたっている。

住民1人当りの支出は、「2000年カナダ公共図書館統計報告」によれば、都市部の大型公共図書館では平均35.56ドル（日本円で2,580.6円）となる。（本項目の日本円換算については2003年の為替相場の年平均値、1カナダドル=82.74円として算出。なお、2000年の為替相場の年平均値は、1カナダドル=72.57円である。）

(20) 自治体の負担額と広域自治体、政府の補助金、民間の寄付の額や比率について

個々の図書館については不明であるが、都市部の大型公共図書館の全体的な傾向については、(14)(19)などを参照されたい。

(21) 人件費・図書購入費・建物設備維持費の3つの年間支出の割合について

「2003年カナダ公共図書館統計報告」によれば、都市部の大型公共図書館は、人件費に予算の64.8%、図書館資料の購入に12.8%、それ以外の支出に22.3%を費やしている。

都市部の大型公共図書館の支出割合

区分	歳出 (ドル)	割合 (%)
給与・福利厚生費	398,156,371	64.8
図書館資料費	78,874,579	12.8
他の支出	137,093,847	22.3
合計	614,124,797	100.0

この統計報告では、さらに資料費について詳細が示されている。上記の資料費総額 78,874,579 ドル（日本円で 65 億 2,608 万円）と数値は若干異なるが、次表のとおりである。資料費の 67.2%を書籍の購入にあて、12.3%を視聴覚資料に、10.1%を定期刊行物に、7.2%を電子資料費に、そして 1.9%をその他の資料にあてていることがわかる。（日本円換算については 2003 年の為替相場の年平均値、1 カナダドル=82.74 円として計算。）

資料費の内訳

区分	金額 (ドル)	割合 (%)
書籍	53,016,860	67.2
視聴覚資料	9,700,279	12.3
定期刊行物	7,963,752	10.1
電子資料	5,648,752	7.2
その他 (不明)	1,520,199	1.9
合計	78,874,562	100.0

3. 図書館サービスについて**1. 利用者数と開館時間****(22) 公共図書館の年間利用者総数について**

2002 年のカナダ図書館協会の「イノベーション戦略に関するタスクフォース (CLA Task Force on the Innovation Strategy)」では、カナダには 2,100 万人の図書館登録者がいると言っている。カナダの出版産業部門の「ライブラリー・プリザーベーション・アンド・アクセス (Libraries, Preservation, and Access)」においては、1,900 万人（人口の 60%）が図書館利用者証を持っているとみなされている。世界の図書館データを集めているウェブサイト「リブイーコン (LibEcon)」は、もっと登録者は少ないとみなし、660 万人としている。先にもふれた、都市部の大型公共図書館の情報を集計している「2003 年カナダ公共図書館統計報告」によると、65 の調査対象となった図書館で、8,387,811 人が図書館利用者証を保持している。正確に現在の状況を知ることは不可能だが、大まかな調査によると 6 つの州で 900 万人ほどの登録者がいる。なおここでは、マニトバ州、ニューファンドランド州、ノースウェスト準州、ヌナブト準州、ケベック州、サスカチュワン州、ユーコン準州についてのデータはない。

図書館利用登録者状況

区分	図書館カード保持者 (人)	年度
アルバータ州	1,045,794	2003
ブリティッシュ・コロンビア州	2,231,084	2003
ニューブランズウィック州	242,419	—
ノバスコシア州	306,396	2004
オンタリオ州	4,957,529	2002
プリンス・エドワード・アイランド州	53,187	2004
合計	8,836,409	—

来館者数については、LibEcon は年間 128,468,918 人と見積もっているが、これは割合にすると人口 1,000 人に対して 4,095 人となる。(これらのデータはウェブサイトへのヴァーチャルな来館は含んでいない)。2003 年のカナダ公共図書館統計報告によると、同年に大都市の公共図書館に来館した人数は、95,541,600 人だった。

NCLSP (全国中核図書館統計プログラム) に参加している図書館のうち、46%の公共図書館が人口 5,000 人未満の自治体の利用に供し、13%が 50,000 人以上の自治体の利用に供している。この報告によると、公共図書館の 1 館の平均利用者数は約 31,000 人である。

(23) 図書館のサービスエリアの人口に占める割合 (利用者登録率) について

「2002 年カナダ公共図書館統計報告」では、登録利用者は地域人口の 53%としている。

また、これとは別の「デビデنز・レポート」によると、1995 年においてカナダ国民の 15 歳以上人口の 34%が、最低 1 度は図書館に来館したと記している。

(24) 利用者の年齢・性別・利用目的などの内訳について

この種の詳細な情報は入手できなかった。

(25) 夜間開館および開館時間数について

開館時間については、全国レベルの詳細な情報は存在しない。

例として、アルバータ州の図書館に責任を持つ組織 (Community Development) によって提供されている以下のデータを紹介する。

人口規模別にみた開館時間の状況

サービス人口規模	週当りの開館時間
10万人以上	924時間 (※)
3万人以上	59時間
1万人以上	58時間
5千人以上	46時間
千人以上	31時間
千人以下	17時間

注：(※) 詳細な情報は得られなかったが、1 週間 (24 時間×7 日=168 時間) よりも数字が大きいのは、ある種の累計によるものと考えられる。

2. 蔵書数および貸出数

(26) 各段階の公共図書館の蔵書数の規模について

NCLSP (全国中核図書館統計プログラム) の報告によると、8,400 万冊が 893 の公共図書館によって所蔵され、400 万冊が州、準州立図書館によって所蔵されている。「カナダ書籍産業に関する考察」(A Consideration of the Canadian Book Industry) によると、国立図書館の蔵書総数は 1,800 万冊以上である。公共、州、準州立図書館において、書籍が全体の 87%を占めている。1994 年において、大都市の公共図書館は、年間資料費の 83%を印刷資料に支出した。

「2003 年カナダ図書館統計報告」によると、この報告で調査された 65 の大都市の公共図書館で 18,505,037 冊の蔵書 (46,668,164 点) があった。

一方、北米の学術書誌ユーティリティであるオンライン・コンピュータ・ライブラリー・センター (Online Computer Library Center: OCLC) の「図書館レポート (Libraries: How They Stack Up)」によると、蔵書総数は 90,300,000 冊で、LibEcon によると、書籍と定期刊行物で 75,032,608 冊だった。

また、LibEcon は、人口 1,000 人ごとの書籍の数を 2,392 冊、所蔵点数全体で 2,604 点と見積もっている。公共図書館は、平均で 170 タイトルの予約購読を行っており、州・準州立図書館では平均 1,700 タイトルで、

すべてをあわせると 167,000 タイトルの逐次刊行物になる。「2003 年カナダ公共図書館統計報告」によると、大都市の公共図書館で 46,440 タイトル (342,046 冊) の定期刊行物があるとされる。

1999 年の NCLSP の報告によると、公共図書館の蔵書の平均は 93,000 冊であった。しかし、場所と人口密度に依存してカナダの図書館の規模の違いはととても大きいという指摘が重要である。「2000 年カナダ公共図書館統計報告」によって調査された大都市の公共図書館においては、蔵書総数が最大であるトロント公共図書館の 11,366,900 冊は、蔵書総数が最小であるコキトゥラム (Coquitlam) 公共図書館の 241,448 冊の 47 倍にも達する。

(27) 蔵書の内訳について

「デビデンズ・レポート」によると、ブリティッシュ・コロンビア州の 70% の公共図書館では、予算の 20% を児童用に充てている。「2000 年カナダ公共図書館統計報告」によると、大都市の公共図書館は平均で資料費の約 20% を児童用資料の費用に充てている。現在の予算は、2003 年で 13,383,414 ドル (日本円で 11 億 734 万円)、2004 年で 11,727,788 ドル (日本円で 9 億 7,036 万円) と見積もられている。このように、ある年度の資料購入費の内訳 (成人用・児童用) はおよそわかるが、図書館の蔵書数の内訳についてはデータが存在しない。

なお、LibEcon によると、89% の蔵書が開架式である。

カナダにおいては、公共図書館は一般的にデューイ十進分類法を用いているが、学術図書館では一般的に米国会図書館分類表が用いられている。また、十進法項目別蔵書比率についてはデータがない。

(本項目の日本円換算については 2003 年の為替相場の年平均値、1 カナダドル=82.74 円として計算。)

(28) 各段階の公共図書館別の蔵書の年間受け入れ冊数について

大都市の公共図書館は、975,788 タイトル (4,024,549 点) を 2003 年に受け入れた。これらの図書館の住民 1 人あたりの平均受け入れ冊数は 2000 年で 0.26 冊である。

(29) 各段階の公共図書館別の蔵書廃棄の実態について

廃棄に関するデータは存在しない。

(30) 各段階の公共図書館別のデータベース保有率、平均保有件数について

「2003 年カナダ公共図書館統計報告」による大都市の公共図書館 41 館への調査によると、電子データベースの数は 2,008 だった。この中で、1,306 が図書館内で用いられ、702 が図書館外からもアクセス可能だった。図書館内の設備からの使用は 303,744 回、外部からは 1,811,914 回で、合計 5,053,981 回だった。

(31) 書籍・雑誌などの媒体別の年間貸出数について

NCLSP (全国中核図書館統計プログラム) のレポートによると、年間に公共図書館により平均で 265,000 点のアイテムが貸し出され、44,000 点が州、準州立図書館により貸し出された。公共、州、準州立図書館の合計の貸し出し数は 2 億 4,200 万点に達した。このなかには、400,000 点の相互貸借を含む。公共図書館は、毎年平均で他の図書館から 400 点を借りている。

「2003 年カナダ公共図書館統計報告」によると、大都市の公共図書館調査では、登録者数は 8,387,811 人で、全体の貸し出しは 166,216,461 点になる。また、年間の図書館内での利用は 39,109,739 点になった。「2000 年カナダ公共図書館統計報告」によると、これらの大都市の公共図書館で、貸出点数が最大であるトロント公共図書館の 25,382,467 点、最小であるオシャワ公共図書館 822,790 点の 31 倍に達する。同報告では、住民 1 人当りの貸出数は 10.27、登録者ごとの貸出数は 20.04 となっている。

下の表は、大都市公共図書館運営評議会 (CALUPL) の年間統計から、いくつかの図書館による書籍貸出数の記録を示したものである。

大都市公共図書館における書籍年間貸出数の例

図書館名	州	年間貸出数 (点)
ラバル図書館 Bibliothèque de Ville de Laval	ケベック州	1,971,287
カルガリー公共図書館 Calgary Public Library	アルバータ州	10,097,613
ハリファクス公共図書館 Halifax Public Library	ノバスコシア州	1,412,528
ロンドン公共図書館 London Public Library	オンタリオ州	3,920,363
サスカトゥーン公共図書館 Saskatoon Public Library	サスカチュワン州	3,366,978
バンクーバー公共図書館 Vancouver Public Library	ブリティッシュ・コロンビア州	7,506,994
ウィニペグ公共図書館 Winnipeg Public Library	マニトバ州	5,696,106

(32)映画フィルム、DVD、CDなどの媒体別の所蔵・貸出状況について

映画フィルム、DVD、CDなどの貸出状況を示す全国データは存在しない。

3. 図書館の各種サービス

(33)図書館サービスに関する情報提供の方法について

大部分のカナダの図書館はウェブサイトを持っている。日本の地方自治体のような公共広報紙はカナダでは日本のように一般的ではないものの、いくつかの図書館では、月間のプログラムやサービス、購入について記載した定期的な広報紙を発行している。大多数の図書館は、コミュニティ内に配布するパンフレットをおいている。図書館のイベント情報などは、新聞やテレビなどのマスメディアによって宣伝される。

(34)インターネット等外部からの蔵書の有無、閲覧・貸出状況の確認について

利用者はインターネットを使って、大多数の図書館の蔵書を検索できる。オンライン上の共同の目録（少なくとも、実質上は共同になっている目録）がすべての州・準州に存在するが、サーチエンジンの状態はさまざまである。マニトバ州などいくつかの州では、州内のすべての公共図書館の共同の目録を提供している。しかし、ケベック州のように局地的なものしか提供していなかったり、オンタリオ州のように州の一部しかカバーしていなかったりする場合もある。

オンライン上の共同目録の例

地域	オンライン上の共同目録
アルバータ州	TAL online
ブリティッシュ・コロンビア州	Outlook Online
マニトバ州	MAPLIN
ニューブランズウィック州	(name unknown)
ニューファンドランド州	(name unknown)
ノースウエスト準州	(name unknown)
ノバスコシア州	NCompass
ヌナブト準州	Chameleon Gateway
オンタリオ州	INFO
プリンス・エドワード・アイランド州	AbbyCat
ケベック州	Reseau Biblio Regional
サスカチュワン州	Zgateway, SunCat
ユーコン準州	(name unknown)

カナダ国立図書館・公文書館（LAC）は、AMICUS という 1,300 館のカナダの図書館の共同の目録も提供している。

なおカナダでは、一般的に携帯電話はインターネットに接続していないので、携帯電話による検索サービスは存在しない。

(35) 地域情報の収集の状況について

コミュニティ情報は、カナダの多くの図書館で集められている。しかし、その詳細は、図書館によってまちまちである。一般的にはコミュニティ情報サービスは、ニーズに応じて医療や政府関連の事柄などの情報源が、コミュニティ内に住む人々へ提供されるようになってきている。

地域イベントのパンフレットは、図書館で作成されている。広報委員会は、地域組織やサービスについての情報を提供している。加えて、多くのコミュニティ・ウェブサイトがある。以下は、いくつかのコミュニティへ情報を提供しているサイトの例である。

○PIC ハミルトン（オンタリオ州） www.pichamilton.net

ハミルトン内の利用可能なサービスについての情報リンク集を提供している。（ハミルトン市は、1980 年代以来、図書館が情報化の先導者として積極的に地域社会とのパートナーシップの形成に尽力している。）

○ピール情報ネットワーク（オンタリオ州） www.pinet.on.ca

コミュニティの医療や地域社会の諸側面についての情報データベースやピール地域の人々のための政府サービスのデータベースを持っている。その中に、地域歴史情報データベースのページも設けている。

(36) 地域内の大学等の諸機関との連携について

カナダでは公共図書館と、その地域における他館や大学、民間部門との連携は重視されている。いくつかの例を以下に示す。

[図書館間の協力の事例]

サスカトゥーン（Saskatoon）公共図書館とパーキシモン・ニュエア（Pahkisimon Nuye,ah）図書館システムは、先住民の少数言語を支援する双方向 CD 制作や収入の少ない人々へデジタル・デバイドの橋渡しをする共同事業である。パーキシモン・ニュエア（Pahkisimon Nuye,ah）図書館システムは、クリー（Cree）語とデネ（Dene）語へ翻訳した CD を提供している。

[図書館と大学（College）との協力事例]

「質問する（Ask a Question）バーチャルレファレンスサービス」は、州の中等教育以上の組織の 50 人の教職員、登録されている学生と同様に、公共図書館分野において、アルバータ市民へデジタルレファレンスサービスを提供している。このサービスは、マック・イワン（Mac Ewan）大学補助金により開発されたソフトウェアの共同利用によっておこなわれている。

[図書館と大学（University）との協力事例]

ブランドフォード（Brantford）公共図書館は、ウィルフィド・ローリエ（Wilfid Laurier）大学のためにサテライトキャンパスを提供している。多くの公共図書館も、遠隔教育コースの学生が図書館で試験が受けられるようにするための試験監督のサービス（たいてい無料）を提供している。

[図書館と民間部門（Private Sector）の協力事例]

トロント公共図書館は、「トロント・スター」（Toronto Star）という主要地方紙からの 250 万ドル（日本円で 1 億 9,618 万円）の補助金を財源の一部として、トロント・スター・新聞センター（2001 年開館）を提供している。センターは、カナダの 39 の新聞を含む、45 言語 84 紙の利用を提供している。また、77 言語の 1,000

あまりのオンライン新聞への接続を利用者に認めている。(日本円換算については2001年の為替相場の年平均値、1カナダドル=78.47円として算出。)

[図書館の地域への参加事例]

これは、オタワにおいてオタワ公共図書館、カールトン大学 (Carleton University)、オタワ大学 (University of Ottawa)、カナダ科学技術情報協会 (Canada Institute for Scientific and Technical Information)、カナダ国立図書館・公文書館 (LAC) の総合目録への検索を利用者に認める地域協力である。

進行中の事業は、目録作成とともに、大学図書館からの資料の貸出を公共図書館の利用者に認める共通図書館利用者証の作成などである。目録作成のためのプロジェクトは、インダストリー・カナダ・スマート・コミュニティ・プログラム (Industry Canada's Smart Communities Program) による資金に拠っておこなわれた。(www.smartlib-bibliogen.ca)

(37)障害者向けの図書館サービスの全国的なシステムや媒体の整備状況について

障害者向けなどの図書館サービスは、次のような側面からおこなわれている。

[障害者用活字本 (Print Disabilities)]

カナダは、G8のメンバーである。G8は、障害を持った人々のための国立図書館サービスを支援する法律や、そういったサービスの支援に資金の提供を勧めている。(Feliciter Vol. 50 (2004), No. 3, p88)

カナダ全国視覚障害者協会 (CNIB) は、視覚障害者に対してサービスを提供する民間の慈善機関であり、点字図書および録音図書を中心とするカナダ最大の資料を所有している。

CNIBは、コミュニティ内に住む不利益を被っている人々に対し、様々なサービスを公共図書館に提供し、彼らを支援している。例えば、「公共図書館セールスプログラム」(The Public Library Sales Program: PLSP) は、ブレイユ点字や録音された子どもや大人用の資料を個人や組織に提供している。また、「ヴィジュネット・カナダ・パートナーズ・プログラム」(The Visunet Canada Partners Program: VCPP) は、CNIBサービスを図書館から視覚障害者メンバーへと広げている。図書館は、CNIB図書コレクションへ地域情報を提供することができる。CNIB図書コレクションとは、DAISY電子録音図書、録音図書、ブレイユ点字本、印刷されたブレイユ点字本、音楽、雑誌、ビデオ、映画、電子資料を含んだコレクションである。

一方、連邦レベルでは、視覚障害者のための情報アクセス特別対策本部を2000年6月に創設し、アクセスを提供する公共政策のフレームワークがこの年から実施されている。2001年2月視覚障害者のための情報アクセス評議会 (Council) は、電子化された本を作り、出版を試みた。さらに、図書館相互で視覚障害者用につくられた資料を広く配布する支援を試みた。近年、カナダ国立図書館視覚障害者ナショナルネットワークの構築をめざしてワーキンググループを設立した。このワーキンググループの報告は、2005年には公表される見込みである。

[高齢者 (The Elderly) サービス]

カナダ図書館協会、高齢者のためのインターネットグループは、2000年に、高齢者のための図書館情報サービスに関するガイドラインを作成した。

1. 高齢者人口に関する最新のデータに基づき、計画および予算編成にそれを組み込むこと。
2. 図書館の資料収集、プログラムおよびサービスにコミュニティの高齢者のニーズおよび利益が反映されていることを確認すること。
3. 高齢者にとって、図書館の設備を安全で快適なものにし、図書館に来館しやすい環境の確保に努めること。
4. 高齢者向けの情報を収集した図書館をつくること。
5. 高齢者の人々のために学習計画を作成すること。
6. 図書館を利用できないコミュニティ内に居住する高齢者へ本を届けること。
7. 高齢者に対して思いやりと尊敬をもってサービスをする職員を育成すること。

CLAの資料によれば、カルガリー公共図書館とノバスコシアのウエスタン・カウンティの地域図書館は、最

近高齢者サービスを組織的に開始した。そのサービスには、インターネット講習、アウトリーチ、障害者用の資料、サイバーカフェなどが含まれている。

[成人リテラシー教育 (Adult Literacy)]

オンタリオ州の 75% の図書館は、成人の利用者を対象とした資料を提供している。また、図書館は、英語とスコットランドプログラムを提供し、新しい移民のための資料の拡充を試みている。

(38)在留外国人の母語に対応した図書の配備状況について

カナダは、1969年に英語とフランス語を公用語とし、1971年公式的な多文化国家となった。「デビデンズ・レポート」には、カナダ人の82%は、近隣が多文化的な構成である地域に居住しているという指摘がある。公共図書館は、英語とフランス語を主なコレクションとしている。カナダには、英語とフランス語を話す人々のエリアがあり、多くの図書館は、さまざまな言語の資料や本などを用意して多文化サービスをおこなっている。

国立公文書館と併合する前の国立図書館 (National Library) は、32言語と440,000以上のタイトルのコレクションを用意した。それらは、1973年にできた多言語図書サービス (Multilingual Biblioservice: MBS) プログラムの一部として公共図書館の間に広がった。多くの図書館で多文化サービスが始められたのは、このプログラムからである。

1994年、国立図書館 (併合前) は、「情報世界：カナダの公共図書館における多文化コレクションの創造」(A World of Information: Creating Multicultural Collections and Programs in Canadian Public Libraries) を公表した。小規模・中規模の公共図書館に対する多文化資料に関する指導に焦点をあてている。

「デビデンズ・レポート」に収められるジョアンヌ・ゴードイン (Joanne Godin) の報告には、多文化コレクションの本質が記述されている。彼女は、カナダ公共図書館の多文化資料は、300人以上の少数民族の言語を話す人々にも利用されるべきであるとし、より小さなコミュニティに対しては、レファレンスブックと最新の新聞雑誌を利用すべきだと説き、次のような提案を記している。

- ・多言語資料コレクションをつくること (Create multilingual collections)。
- ・多文化の情報資源を共有すること (Share multicultural resources)。
- ・多文化コミュニティとの接触をもつこと (Establish contact with multicultural communities)。
- ・基本的情報から開始すること (Start with basic information)。
- ・コレクションの発展はコミュニティの成員によってサポートされること (Community members can help you to develop a collection)。
- ・段階的に業務を遂行すること (Work in stages)。
- ・多文化資料をじっくり組み立てていくこと (Build a multicultural collection slowly)。
- ・図書館ネットワークの一部になること (Be part of a library network)。
- ・物事をシンプルに保つこと (Keep things simple)。
- ・職員の能力を育成すること (Build staff skills)。

MBSプログラムは一応の成功をおさめ、多くの図書館で同様の要求が発生し、ガイドラインも定められた。しかし、その後MBSプログラムは資金とマンパワーが続かず、多文化資料のコレクション形成は継続されていない。

大都市の図書館員は、利用者に最も要求が多い資料として、中国語、ヒンディー語、アラビア語を挙げている。ただし、多文化資料について書誌コントロールするのは、とても難しい。それぞれの言語資料の目録作成は、簡単にできるものではない。言語をよく熟知している職員であれば可能であるが、それはむしろ例外に近いといえる。

さて、多様なコミュニティを支援する図書館の好例としては、トロント公共図書館が挙げられる。カナダへの移民のおよそ半分はトロントに定住しているため、トロントの公共図書館には、当面、常に変化する対象者に資料を提供することが必要となっている。トロントの公共図書館では、特に、トロント・チャイニーズ地区の中心部近くに位置する新しい分館にはかなり多数の中国語の資料を揃えており、所蔵目録を作成している。資料のコレクションに含まれるのは、アラビア語、アルメニア語、ベンガル語、クロアチア語、オランダ語、

エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシア語、グジャラート語、ヘブライ語、ヒンディー語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、中国語、リトアニア語、マケドニア語、パンジャブ語、ペルシア語、ポーランド語、ポルトガル語、ブラジル公用語、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、ソマリ語、スペイン語、タガログ語、タミール語、トルコ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語、世界各地のユダヤ人公用語、イディッシュ語である。

このように、トロント公共図書館の例はあるが、一般に、カナダの公共図書館で多文化資料の所有状況を示す明確な統計は存在しない。

3. 図書館の各種サービス

(39) 子どもの読書活動の振興や読書指導の状況について

オンタリオ州図書館協会は、「公共図書館における子どもの権利 (Children's Rights in the Public Library)」を作成した。ここでは、公共図書館において子どもは以下の権利を有すると記されている。

- ・知的自由。
- ・市民だれもが利用可能なサービスと資料への平等なアクセス。
- ・市民のニーズに応じて、明確に計画され開発された資料とサービスおよびプログラム。
- ・人口、利用実態、地域コミュニティのニーズに結びついたコレクションとサービス提供のための適切な資金。
- ・子どもの身体上および発達上の段階を補完する図書館の環境。
- ・児童サービス専門の、訓練され、それに精通している職員。
- ・子どもから成人に至るまで成長過程に応じて親しまれる丁寧で協力的なサービス。
- ・児童サービスの目標を市民だれもが知ることのできるよう、図書館管理、図書館委員会、市議会などに対して地域住民の声を届ける支援者の存在。
- ・子どもを対象とすることの必要性を含めて、成文化された図書館方針。

カナダの多くの図書館はまた、若い利用者のために同様の方針をとっている。

1975年、国立図書館は、「児童およびヤングアダルトの文学への関心の向上、この領域での資源の構築、助言、書誌作成、レファレンスサービス」を実施するために児童文学のセクションを設けた。そして現在、カナダ児童文学サービスコレクション (Canadian Children's Literature Service Collection) は、16歳以下の児童に適した英語の図書、フランス語の図書およびその他の言語の図書を所蔵し、また、電話や書面 (FAX、電子メール) での直接のレファレンスサービスを提供している。さらに、カナダの児童文学に関連した専門的主題に関する電子的なプログラムおよびサービスの提供、開発をしている。収集の重点は、カナダについての図書、またカナダで書かれ、あるいはカナダで描かれ、カナダで出版された図書といった点におかれる。図書の多くは、法定の保証金を通して入手したものであるが、いくつかは購入もしくは寄贈されたものである。

トロント公共図書館では、1994年にトロント・ドミネーション・サマー・リーディング・クラブ (Toronto Domination (=TD) Summer Reading Club) をスタートさせた。トロント・ドミネーションは、カナダの有名な銀行である。これは、12歳以下の子どもに読書の興味を湧かせるための機会を提供するクラブである。2003年以来、カナダ国立図書館・公文書館 (LAC) は、カナダの全ての州および準州でこのプログラムの実施を目指して取り組んでいる。子どもたちは、テーマに関するゲームのポスターや興味をひきそうな図書を受け取る。例えば2004年のテーマはドラゴンであった。地方自治体、州、準州の図書館は、地域の図書館にクラブのメンバーを紹介し、メンバーの読書を奨励するために、コンテストやイベントを催した。(詳細は、www.collectionscanada.ca/tdclub/index-e.html などにある)

また、「リード・アップ・オン・イット」(Read Up On It) という出版物は、いくつかのテーマ (詩、多文化、魔法、自然と環境、音楽、ユーモア、ミステリーとアドベンチャー、スポーツ、歴史、サイエンスフィクションとファンタジー、家族、先住民の伝説など) のカナダの図書を子どもたちに紹介する、カナダ国立図書館・公文書館から1年に一度出る二カ国語出版物である。テーマの選択は、二つの柱からなる基準 (カナダ国

内の州と準州において、教育者のニーズを満たすために社会科と語学のカリキュラムから選ばれたトピックやテーマ、およびフランス語や英語で書かれたカナダの児童文学の出版動向)に基づいている。「リード・アップ・オン・イット」には、視力障害の子どものための代替形式(点字、印刷点字、DAISY 録音図書)の選択も含まれている。出版物は、カナダ全域の学校や公共図書館で配布され、オンラインでは www.collectionscanada.ca/read-up-on-it で利用することができる。

このほか、カナダの図書館のほとんどすべてで、子どものためにふさわしいプログラム、レファレンスサービス、読書指導が行なわれている。多くの図書館が、ストーリーテリングや学校訪問、夏の読書会を催している。「デビデنز・レポート」でも、州にある図書館の90%以上がストーリーテリングや学校訪問をしているというブリティッシュ・コロンビア州の公共図書館の調査を挙げている。

子どもたちは、宿題をするためにも公共図書館を利用する。「デビデنز・レポート」によれば、例えば、ネピアン公共図書館(オンタリオ州)の利用者の25%は、宿題をするために図書館を利用する子どもである。ノースヨーク公共図書館(オンタリオ州)の利用者の27%が、宿題をするために図書館を利用する。またアルバータ州においては、公共図書館利用者の32%が、調査、宿題や子ども関係の様々な取組みで占められているとの報告がある。

(40) その他各種事業(映画会など)の実施状況について

カナダにおける図書館プログラムの範囲は、非常に広く多様である。そのため、その全てを記録した統計資料を集めることは不可能であるが、「デビデنز・レポート」には、図書館では、以下の項目を含む何千ものプログラムが実施され、何百万人もの人が参加したと書かれている。

- ・求職の方法 (job-seeking strategies)
- ・作家と集う (meet the author)
- ・ストーリーテリング (storytelling)
- ・インターネット利用法 (using the internet)
- ・資産管理 (personal finance)
- ・子どもの護身術 (street-proofing your children)
- ・健康問題 (health issues)
- ・読書会 (reading clubs)
- ・美術工芸 (arts and crafts)
- ・ガーデニング (gardening)

また、「2003年カナダ公共図書館統計報告」では、大都市の公共図書館において年間に14万1,231のプログラムが催され、参加者数は合計327万7,255人であったと報告されている。

例として、「デビデنز・レポート」に掲載された1995年プログラムの参加者数は次のとおりであった。

各種プログラムの参加者数

図書館名	州	参加者数(人)
ラバル市立図書館	ケベック州	51,654
カルガリー公共図書館	アルバータ州	45,511
ハリファクスシティ公共図書館	ノバスコシア州	128,914
ロンドン公共図書館	オンタリオ州	163,444
サスカトゥーン公共図書館	サスカチュワン州	65,550
バンクーバー公共図書館	ブリティッシュ・コロンビア州	105,115
ウィニペグ公共図書館	マニトバ州	68,435

4. 図書館職員の状況

1. 職員数、資格制度、研修等

(41) 公共図書館の職員数（専任・兼任・非常勤の別など）について

司書および図書館にかかわるスタッフの定義は、カナダの人材資源開発の国家職業分類制度のなかで規定されている。

[司書]

司書は図書館資料を選定し発展させ、収集資料を維持管理する。そして、利用者に対して助言を含めたサービスを提供する。

[蔵書と文書保存のテクニシャンとアシスタント]

蔵書、文書と記録管理のテクニシャンとアシスタントは、図書あるいは文書のアクセスについて利用者を支援し、情報検索をおこなう。また、定められた文書保存の方法にもとづいて、蔵書や文書の保管に関わる。記録管理において、アシスタントは新しく受け入れられた蔵書や文書についての記録管理を助ける。

[図書館事務職]

図書館事務職は図書館資料の貸出返却に従事する。資料を整理し排架する。そして図書館からのさまざまな案内を利用者に伝える。

職員数に関する統計は、司書とその他の図書館職員について、区別がある場合と混在している場合があるため比較が難しいが、次のようなデータが存在する。

NCLSP（全国中核図書館統計プログラム）報告によれば、公共図書館と州・準州の図書館の常勤職員の合計は総数で 14,000 名になる。従って、州立・準州立を含め公共図書館では、1 館当たり平均約 15 人の職員を雇用していることになる。

一方、2003 年の OCLC（オンライン・コンピュータ・ライブラリー・センター）の図書館レポートによれば、全国の公共図書館における司書は 11,405 名と概算されている。

さらに、都市部の公共図書館職員に関しては、「2000 年カナダ公共図書館統計報告」によれば、グローチェスター公共図書館の 43 人から トロント公共図書館の 1,772 人まで広範囲におよぶ。また、司書の数については、大都市の公共図書館 65 館では計 8,646 人の職員（1 館当たり平均 133 人）のうち、司書は 1,672 人（19.3%）、他の図書館職員は 6,974 人（80.7%）となっている。

ところで、先の 1999 年 NCLSP レポートでは、図書館の 60%は専門性のある司書を、58%は図書館テクニシャンを、そして 74%は司書か図書館テクニシャンのいずれかを雇用していることがわかる。26%の図書館では司書あるいは図書館テクニシャンのどちらも雇用していなかった。このほとんど（77%）は人口 5,000 人以下の小さな公共図書館ということである。

なお、カナダの司書の女性と男性の比率は、約 4 : 1 であるとみなされている。

(42) 司書資格の難易・給与との関係、年間司書資格取得者数と就職者数について

一般に、カナダにおいて司書になるには、アメリカ図書館協会（American Library Association: ALA）によって認定された大学で図書館学の修士号（もしくは同等の資格）を持っていなければならない。次に紹介するカナダの大学はアメリカ図書館協会の認可を受けた図書館プログラムを提供している。アルバータ大学

（University of Alberta）、ブリティッシュ・コロンビア大学（University of British Columbia）、ノバスコシアにあるダルハウジー大学（Dalhousie University）、西オンタリオ大学（University of Western Ontario）、オンタリオにあるトロント大学（University of Toronto）、ケベックにあるモントリオール大学（Universite de Montreal）、ケベックにあるマクギル大学（McGill University）である。しかしながら、司書職は確立された

専門職業ではないため、資格条件は、個々の雇用者によって定められている。カナダ図書館協会（CLA）は、カナダの図書館学における職務に関して助言できるが、認定書を出すものではない。

図書館テクニシャンはコミュニティカレッジ卒業証書、または、大学程度の学歴を必要とし、そして、図書館アシスタントは、原則中等学校の修了を必要とする。図書館テクニシャン養成プログラムは、約 20 のカレッジと大学で提供されている。

カナダ公共図書館協会（Canadian Association of Public Libraries）は司書職をひとつの仕事として選択することを人々に奨励するため「公共図書館職員」というパンフレット（“Public Librarians: The Original Information Seekers”）を作成している。

図書館職員の給料については、1999 年の NCLSP（全国中核図書館統計プログラム）報告によれば、常勤職員の平均収入は年に 37,442 ドル（日本円で 287 万円）である。この数字は公共図書館だけではなくすべての館種の図書館を含む。（日本円換算については 1999 年の為替相場の年平均値、1 カナダドル=76.67 円として算出。）

トロント大学の情報学部では、卒業生の就業および給与についての調査を行っている。次の表は、1994 年から 2002 年までの給与についての結果を示したものである。

トロント大学情報学部卒業生の平均給与 (単位：ドル)

区分	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
平均給与（ドル）	36,483	36,167	35,334	39,190	39,750	41,602	50,678	46,203	47,454
回答数（人）	—	—	—	—	—	18	19	26	24

どのくらいの学生が図書館に関する職業に就職しているかについては、各大学が、卒業生に関する情報を保持しているが、公式の統計からは入手できない。次の表は ALA が認可した大学で 1 年に卒業する学生のおおよその人数を示したものである。

ALA で認可された大学を卒業する学生 (単位：人)

大学	卒業生の数	卒業年
アルバータ大学	24	2002年
ブリティッシュ・コロンビア大学	48	2002年
ダルハウジー大学	37	2004年
西オンタリオ大学	115	2004年
トロント大学	83	2002年
モントリオール大学	(※) 60	—
マクギル大学	(※) 70	—
概算総計	437	—

注：モントリオール大学とマクギル大学の卒業生の数はいずれも見積数。

トロント大学プログラム（University of Toronto Program）では、卒業生が最終的にどんな種類の仕事を見つけたかについて定期的に調査を行っている。

トロント大学プログラムによる卒業生の図書館等への就職に関する調査結果 (単位：人)

区分	1999年	2000年	2001年	2002年
卒業生	85	75	83	83
うち図書館学専攻	62	49	53	53
回答者数	43	43	40	41
雇用された数	30	35	35	32
うち図書館	23	19	16	16
その他	17	16	19	16

アルバータ大学とモントリオール大学も、大学のウェブサイトで卒業後の就職状況に関する調査を発表している。

一方、カナダの図書館（単に公共図書館だけではなく、全ての部門で）は、カナダ青年職業プログラムを利

用している。このプログラムは、カナダ政府が図書館、博物館、及び他の郷土の組織で若い人々が経験を積み重ねていけるよう、カナダ政府が「郷土の職業訓練」において最高 75 までの職業見習プログラムを提供するといううちのひとつである。政府は、見習の賃金に 10,000 ドルまで支払う。図書館は、カナダ青年職業プログラムの目標を満たすために、彼らのプログラム達成度を評価できるような書類を提出しなければならない。郷土の職業訓練計画は 4 ヶ月から 12 ヶ月にかけて続き、次の目標に伴い作成される。

- ・郷土の組織、及び産業に関して知的情報経済の発展を支援すること。
- ・郷土、芸術、及び文化的な部門において資質に恵まれた青年の集団を増やすこと。
- ・郷土組織、及び特定の仕事のグループにおいて人材資源ニーズの拡充を支援すること。
- ・郷土の及ぶ範囲、またカナダや海外において芸術的で文化的なサービスや製品の普及を拡大すること。

図書館部門においてこのプログラムが行なわれる意味は、若者に図書館活動のさまざまな面を知ってもらうことによって、図書館という職業に対する関心を高めることにある。例としては、夏季読書プログラム、コンピュータやインターネットの研修プログラム、ウェブデザイン、目録、そしてデジタル化のプロジェクトが含まれる。

(43) 公共図書館現職職員の研修プログラムについて

図書館学における継続教育プログラムは、大学、カレッジ及び図書館協会によって行われる。

司書は、資格を定期的に更新することは強制されていないが、職業柄、時代の潮流に乗り遅れないよう、特にテクノロジーや経営について定期的な研修が必要である。

「カナダにおける LIS の専門家のための成人教育」と題された研究が 2001 年に実施された。この研究によれば、カナダは、今のところ教育を評価する専用の組織や、イギリスにあるような全国情報サービス研修組織 (Information Services National Training Organization) のようなものは持っていないが、カナダ図書館協会 (CLA) がその役割を一部遂行することができるのではないかと提言している。この研究によると、「あなたの職場では成人教育を奨励しているか」という質問に関して、回答のうち 86.9%が「はい」と述べている。しかし、その回答の多くは「ある特定の分野のみ」、あるいは「研修する分野を自分で決めることが期待されている」といったコメントをとまなう条件付きのものだった。職員が履修経費の 21.8%を支払う一方、雇用者は 59.2%を支払っていた。つまり、職場が成人教育に関して公の指針をほとんど持っていないことを示唆する。

利用可能な成人教育コースの例が、ダルハウジー大学図書館情報学部のウェブサイトで見つけられる。いくつかの通信教育プログラムは、ワークショップへの参加や学術出版の入手が難しい地域、大都市から離れた地域で働く司書のために存在する。国のいたるところから図書館の専門家がアクセスできるよう、遠隔会議やインターネットを利用したコースが開講されつつあることがわかる。

2. ボランティアの登録・活動の状況

(44) 公共図書館で活動しているボランティアについて

ボランティアとしてまず考えられるのが、友の会活動である。カナダの多くの図書館には「図書館友の会」がある。これらのグループの活動は図書館によってさまざまであり、友の会は地元で運営しているため、友の会に関係したボランティアの正確な人数について国家の統計はない。

南オンタリオ図書館サービス (Southern Ontario Library Service) では、オンタリオにある 98 の友の会の調査を行った。その結果、図書館友の会の多くは、1 つ以上の図書館あるいは分館を支えており、それらの友の会の 70%以上が会員数 51 人以下であることがわかった。

以下は、この調査で回答を得た 88 の友の会がどんな活動を行なっているかについて答えたものである。

友の会活動の内容	割合
友の会の目的として資金調達	93.2%
会員集め	64.8%
奉仕	61.4%
アドボカシー（図書館に関する積極的な提言）	56.8%
識字教育の推進	44.3%

そして、会員自身がおこなっている活動は、次のとおりである。

会員の活動の内容	割合
資金調達の行事	85.1%
古書の販売	74.7%
機関紙発行	58.8%
図書館奉仕	54.3%
プログラムの後援	40.3%

2003年に開かれたアイディア共有のワークショップでは、ブリティッシュ・コロンビア州の図書館友の会が次のような報告をおこなった。

友の会は住民参加とともに、広報、資金、サービス、そしてアドボカシー（図書館に関する積極的な提言）活動を支援する。友の会は、（基金、あるいは登録されたメンバー構成として）しっかり組織だったものがある一方で、図書館に関心がある地域住民のグループでゆるやかに構成されているものがある。図書館職員が適切に配置されていない場合、友の会会員が本の返却を手伝うという図書館もある。友の会では3ドル（個人向け）から20ドル（家族向け）の会費を課している。それは主に出版物刊行の費用にあてられている。

また、カナダ図書館友の会のウェブサイトでは、以下にあげる活動がボランティアの行う仕事の例として示されている。

- ・ 本や図書館の土産物を売ったり、図書館資料の修繕のための資金を集める。
- ・ 特別コレクションの整備を支援する。
- ・ より広いサービスのためのキャンペーンをする。
- ・ 政府に対し図書館の代表として意見を表明する。
- ・ 展示、講演、映画プログラム、本の書評、文芸賞をサポートする。
- ・ 図書館報告のたぐいを出版する。
- ・ 地域において図書館を広報する（編集者や新聞コラム宛てに図書館についての文章を書く）。
- ・ 支援者が集い、そして、もし彼らが望むなら、友の会の活動のため奉仕できる場を提供する。
- ・ 図書館内の、コンピュータ目録やその他のサービスについてガイドつきツアーを行う。
- ・ 花を生けたり、飾ったり、季節の模様替えをする。
- ・ 新聞に索引をつける。
- ・ 定期的なニューズレターを活字と電子フォーマットで発行する。
- ・ 本を修理する。
- ・ 在宅利用者に本を届ける。
- ・ インターネットの使い方についての講座を開く。

5. 図書館の設備、情報化等の整備状況

1. 各種施設・設備の設置状況

(45)各種の施設・設備（閲覧室、書庫、児童室、対面朗読室など）の状況について

「2003年カナダ公共図書館統計報告」に報告を寄せた合計62の都市部の大型公共図書館の平均面積は、

162,776ft² (15,100m²) である。そのうち最も小さな図書館は、人口 72,717 人を擁する地域に対して 2ヶ所でサービス提供をしているレスブリッジ (Lethbridge) 公共図書館の 5,155ft² (479m²) であり、最も大きな図書館は、計 101ヶ所で人口 2,481,494 人を擁する地域にサービスを提供しているトロント (Toronto) 公共図書館の 1,790,889ft² (166,000m²) である。

部屋数、広さ、使用目的などに関する詳細なデータは不明である。

(46)スロープ、トイレなど、車椅子利用者用の設備の整備状況について

古くからあるカナダの図書館の多くは、いわゆる「カーネギー・ビルディング」と呼ばれる旧式ながら魅力的な建築物ではあるが、最も車椅子による利用がしにくい建物である。カナダの図書館司書は、こういった課題をじゅうぶん認識し、全ての人々が利用しやすい図書館を目指しているが、資金面で制約を受けている。

「カナダ人権と自由の憲章」(Canadian Charter of Rights and Freedoms) (1982, 1985) は、次のように宣言している。

全ての人は法の前そして法の下に平等であり、特に人種、民族的若しくは種族的出自、皮膚の色、宗教、性別、年齢、精神的若しくは肉体的障害に基づく差別を受けることなく、法の平等なる保護及び利益を受ける権利を有する。

アメリカ合衆国の「1990年アメリカ障害者法」(Americans with Disabilities Act) は、図書館のような公共施設への障害者のアクセスを保証している。そうした法律はカナダではまだ成立していないが、カナダの州・準州には、公共建築物へのアクセスに関するガイドラインが設けられている。国連障害者の 10年 (1983-1992) 以降、図書館の多くは新たなサービスの提供、施設の改善などによって障害者サービスを向上させてきた。「カナダ、バリア・フリー図書館Ⅱ」(Accessible Canadian Library II) は、「公共施設の多くは、現在では全ての人にアクセス可能となっている。そしてバリア・フリーの評価基準は、絶えず改善されている」と述べている。

また、カナダ図書館協会は、下記の「図書館規約」(Library Mandate) を 1997年に採用した。

1. 図書館のミッション・ステートメントは、全ての市民に、図書館情報サービスに対する公平な権利があることを述べた「図書館規約」を反映したものでなければならない。
2. 図書館の目標は、スタッフが、他の全ての利用者に対するのと同様に障害者に対しても配慮し、尊厳と敬意を持って対応することを保証したものでなければならない。
3. 図書館の目標は、全ての設備及びサービスに全ての人々がアクセス可能であることを明記しなければならない。物理的障害や他の障害が存在する場合には、改善計画でそれらの障害を取り除くために必要な手段を明らかにしなければならない。
4. この規約を全うするために、図書館は、障害者を代表し、障害者に奉仕している地元及び州の団体と協力して取り組まなければならない。
5. 地域社会、財政状況、技術の変化に伴い、図書館は絶えずそのプログラム、サービス、収集物を再評価し、全ての地域住民のニーズに効果的かつ適切に応えられるように努めなければならない。
6. 図書館は、物理的な障害が取り除かれているのみならず、さまざまな特殊設備、利用者のニーズを細やかに汲み取れる訓練を受けたスタッフ、および図書館の提供する全サービスへのアクセスの確保を通して、人々を歓迎する温かい環境を提供しなければならない。

図書館のバリア・フリー状況に関するより詳細な内容については、次のウェブサイトが参考になる。

「カナダ、バリア・フリー図書館Ⅱ」 The Accessible Canadian Library II

(www.collectionscanada.ca/9/10/p10-1000-e.html)

「カナダ障害者のための図書館及び情報サービスのガイドライン」 Canadian Guidelines on Library and Information Services for People with Disabilities (www.cla.ca/about/disabils.htm)

2. コンピュータの設置・活用状況およびインターネットの活用

(47) コンピュータの設置状況（職員用・利用客用）について

連邦政府のコミュニティ・アクセス・プログラム（CAP）は、小規模コミュニティが公共図書館、学校、コミュニティ・センターを通じてインターネットへのアクセスを提供することを支援する。この連邦政府の方針及び、ビル&メリンダ・ゲイツ財団のような大口寄付者の善意により、現在、ほぼ全てのカナダの図書館には、インターネットに接続可能な端末が設置されていると考えられている。

カナダ図書館協会の2000年の報告によると、カナダの全公共図書館のうち98%はインターネットに接続され、90%以上は利用者に開放している。

都市部の大型公共図書館を対象とした「2003年カナダ公共図書館統計報告」によると、6,557台のコンピュータがインターネットに接続され、一般に開放されている。

なお、インターネット端末を利用客に直接、無料で使わせているかということについては、図書館の利用登録をしている利用者は、通常無料でインターネットを利用できる。一部の図書館では、非居住者のコンピュータ使用は有料である。

(48) インターネットの利用やセキュリティ保持の状況について

カナダのほぼ全ての図書館には、インターネットに接続可能なコンピュータが設置されている。アメリカ合衆国における状況と異なり、カナダ政府からコミュニティ・アクセス・プログラムに基づいて受け取る資金には、フィルタリングソフトに関わる条件は規定されていない。そのため、全ての図書館は独自に、インターネット利用規定を定めなければならない。

カナダ図書館協会は、「インターネット・アクセスに関する宣言（Statement on Internet Access）（www.cla.ca/about/internet.htm）」の中で、図書館に対して「できるだけ制約を設けずにインターネットへのアクセスを提供する」ように勧告している。また、「インターネットという、重要だが非選択的、かつ規制を受けにくい情報媒体の、図書館での使用に伴う問題点を理解したうえで、図書館での利用という問題に対する地域住民の認識を高め、議論を活発にするために、図書館が積極的にリーダーシップを発揮すること」を勧告している。

インターネット利用に関わる政策議論は、アメリカ合州国ほど問題にはなっていない。しかし、図書館がフィルタリングソフトを導入せざるを得なくなった例が1件ある。2003年に、オタワ公共図書館の何人かのスタッフが、フィルタリングソフトを導入しなければ職場で成人向けコンテンツにさらされることになるであろうとの懸念を、組合に対して表明したのである。地域の注目と議論を集めたこの事件は、最終的にオタワ公共図書館委員会（Ottawa Public Library Board）によって、16歳以上の利用者はソフトを解除できるとの条件付きでフィルタリングソフトの導入が決定された。16歳以下の児童については、親権者の許可を得られれば解除することができる。

アン・カリーとケン・ヘイコック（Ann Curry, Ken Haycock）によって2000年4月に実施された調査によると、ブリティッシュ・コロンビア州の21%の公共図書館が何らかのフィルタリングソフトを利用者端末に導入していたが、全ての利用者向け端末にソフトを導入していたのはそのうちのたったの5%であった。多数の図書館（69%）は、いかなるフィルタリングソフトも用いず、また導入する予定もなかった。公共図書館の利用者は、フィルタリングソフトの解除ができる旨が明確に定められている場合のみ、解除することが認められている。

この調査報告書によると、規制を導入している図書館により用いられているフィルタリングソフトは以下のとおりである。サイバーパトロール（Cyberpatrol）（43%）、サーフウォッチ（Surfwatch）（8%）、ウェブセンス（Websense）（6%）、スクリーンドア（Screendoor）、ボーダー・マネジャー（Border Manager）、フルプルーフ（Foolproof）、スマート・フィルター（Smart Filter）、サーチオポリス（Searchopolis）、ネット・ナニー（Net Nanny）、ウィンユウ（Winu）、ガード（Guard）、エアースウィッチ（Airswitch）、及びライブラリー・ガーディアン（Library Guardian）。その後、より広範な図書館を対象とした調査はなされていない。

なお、市民の情報リテラシーを高めるためのインターネット講習会については、多くの図書館で開催されて

いる。

(49) 利用者のパソコン用の電源と情報端末の整備状況について

図書館の多くは、利用者が持ち込んだノートパソコンや情報端末を使用するための電源を提供しており、これらの機器を用いてインターネットにアクセスすることを許可している。電子機器の使用に関わる図書館の方針の具体例は、バンクーバー公共図書館などが詳細に示している。

一部の図書館では、無線でのインターネットへのアクセスを可能とする設備を備え始めている。ブリティッシュ・コロンビア州のリッチモンド公共図書館と、アルバータ州のブラックファルズ公共図書館などがそうである。ブラックファルズ公共図書館の場合は、他の館と異なり人口 3,812 人を対象にサービスを提供する地方図書館であり、地域のボランティアによって無線サービスが開始された。

なお、パソコン用電源の数、及びインターネット接続用端末の数などの詳細は不明である。

(50) Web-OPAC やデータベースの利用とオンライン・レファレンスの実施について

カナダのほとんどの図書館は、ウェブサイトを開設しているが、それらの具体的な内容に関する詳しい調査はなされたことがない。しかし一般的には、ほとんどの図書館のウェブサイトには、OPAC 検索ページ（登録利用者専用のもので、誰でも使用できるもの、登録利用者向けだが他の人々も利用できるもの）があり、リンク集やデータベースを提供しているところもある。地域間協定を結んでいる図書館では、他地域館の蔵書検索という選択肢を用意している場合もある。インターネット上で目録を提供している図書館の中には、地域外の図書館の蔵書検索という選択肢を提供し、カナダ国立図書館・公文書館、カナダ議会図書館 (Library of Congress)、さらには、複数館にまたがるオンライン上の総合目録をカスタマイズすることにより、特定の図書館を選択して検索する機能を持たせているものもある。その一例が、マニトバ州の MAPLIN である。

「2003 年カナダ公共図書館統計報告」に報告を寄せた 51 の都市部の大規模公共図書館のデータによると、Web-OPAC のアクセス数は、インターネット経由で 42,245,726 件であり、ダイヤルアップまたはテルネット経由で 1,828,129 件であった。

伝統的レファレンスサービスに加えて、オンライン・レファレンスを実施しているかどうかについては、アルバータ州、プリンス・エドワード・アイランド州、ケベック州、サスカチュワン州では、州内全域を対象にオンライン・レファレンス・サービスが実施されている。ブリティッシュ・コロンビア州およびオンタリオ州の住民は、それぞれバンクーバー公共図書館とトロント公共図書館が提供するオンライン・レファレンス・システムを利用できる。なお、オンタリオ州については、オンタリオ電子図書館 (Ontario Digital Library) が、いずれれ州の住民に対して、州全域にわたるオンライン・レファレンス・サービスを提供する予定である。

各州のオンライン・レファレンスの提供状況

州・準州	接続先あるいは提供の有無
アルバータ州	Ask a Question www.talonline.ca/askaquestion/
ブリティッシュ・コロンビア州	バンクーバー公共図書館経由 http://www.vpl.ca/finditnow
マニトバ州	提供されていない
ニューブランズウィック州	提供されていない
ニューファンドランド州	提供されていない
ノースウェスト準州	不明
ノバスコシア州	不明
ヌナブト準州	不明
オンタリオ州	トロント公共図書館経由
プリンス・エドワード・アイランド州	IsleAsk http://islandlibraries.ca/isleask.php
ケベック州	Info Biblio www.crsbp.org/infobiblio/infobib.html
サスカチュワン州	Ask Us www.lib.sk.ca/askus
ユーコン準州	不明

他の多くの図書館（通常大都市圏の図書館）も、オンライン・レファレンス・サービスを提供している。また、カナダ・ヴァーチャル・レファレンス（Virtual Reference Canada）（www.collectionscanada.ca/vrc-rvc）は、図書館司書による質の高いレファレンス・サービスの提供をサポートするために構築された、図書館、公文書館、美術館、情報センター、研究機関を結んだネットワークである。公共図書館の多くが、このネットワークに参加している。

<追記>

カナダの公共図書館の最も重要な特色は図書館間相互貸借とレファレンス・サービスである（2003年度のカナダ公共図書館統計の2～3ページに掲載されている図書館間貸借に関する統計を参照）。

また、カナダでは図書館協会と地域ネットワークが日本に比べ重視されている。カナダの図書館案内2002・2003（Directory of Libraries in Canada 2002/2003）によると、カナダには図書館に関係する協会が合計185団体ある。

<参考文献・ウェブサイト>

- The Accessible Canadian Library II, (online), available from
<www.collectionscanada.ca/9/10/p10-1000-e.html>
- Canadian Guidelines on Library and Information Services for People with Disabilities (CLA, 1997), (online), available from <www.cla.ca/about/disabils.htm>
- Alexander, Wendy, “Canadian Library Yearbook”, Micromedia, 1990
- Canadian Public Libraries, (online), available from
<www.collectionscanada.ca/gateway/s22-212-e.html>
- Canadian Public Library Statistics 2000, 2001, 2002, 2003, (online), available from
<www.mississauga.ca/portal/residents/librariystatistics>
- Citizens First 1998, (online), available from
<www.myschool-monecole.gc.ca/Research/publications/pdfs/cit-firstf.pdf>
- CLA Submission to the House of Commons Finance Committee (August 2001), (online), available from
<www.cla.ca/issues/hocfinance2001.htm#appendix>
- CLA Task Force on the Innovation Strategy – Submission on Libraries, (online), available from
<innovation.ic.gc.ca/gol/innovation/interface.nsf/vSSGBasic/in02290e.htm>
- A Consideration of the Canadian Book Industry, (online), available from
<www.parl.gc.ca/InfoComDoc/36/2/HERI/Studies/Reports/heri01/04-toc-e.html>
- Fiona A. Black, Judy Dunn and Stan Skrzyszewski, Rhonda Miller, “Continuing Education for LIS Professionals in Canada”, (online), available from
<www.mgmt.dal.ca/slis/ContinuingEd/IFLAREport.pdf>
- Copyright Exception for Educational Institutions, Libraries, Archives and Museums Regulations, (online), available from <laws.justice.gc.ca/en/C-42/SOR-99-325/79196.html>
- Copyright Law, (online), available from <laws.justice.gc.ca/en/C-42/>
- Disability Resources – Librarians’ Connections, (online), available from
<www.disabilityresources.org/DRMLibs.html>
- Dividends: The Value of Public Libraries in Canada, (online), available from
<www.cla.ca/divisions/capl/caplcovr.htm>
- Directory of Libraries in Canada 2002/2003, (online), available from
<<http://library.usask.ca/dbs/dlc.html>>
- Encarta Encyclopedia Entry: Library (institution), (online), available from
<[encarta.msn.com/text_761564555__0/Library_\(institution\).html](http://encarta.msn.com/text_761564555__0/Library_(institution).html)>
- The Erosion of Equitable Library Services for Print Disabled Canadians (Feliciter, July/Aug 2002), (online), available from <www.cnib.ca/library/general_info_library/about_collection/feliciter_article.htm>
- Internet Censorship in Public Libraries, (online), available from
<www.cippic.ca/en/faqs-resources/internet-censorship-public-libraries/>
- LibEcon: A Research Study into International Library Economics, (online), available from
<www.libecon.org/>
- Libraries: How They Stack Up (OCLC Canada), (online), available from

- <www.oclc.org/ca/en/reports/2003libsstackup.htm>
- Library and Archives Canada, (online), available from
<www.collectionscanada.ca>
 - Library of Parliament, (online), available from
<www.parl.gc.ca/common/library.asp>
 - A Man in a "Women's" Profession, (online), available from
<web.archive.org/web/20040114180837/http://www.sla.org/chapter/ctor/courier/v33/v33n3a1.html>
 - Multilingual/Multicultural Collections And Services, (online), available from
<www.collectionscanada.ca/multicultural/r25-220-e.html>
 - National Core Library Statistics Program Statistical Report, 1999, (online), available from
<www.collectionscanada.ca/obj/r3/f2/02-e.pdf>
 - National Library Act (1952) An Act Respecting the Establishment of a National Library, (online),
available from <www.collectionscanada.ca/50th/012009-217-e.html>
 - National Policies for Library Services to Visually Impaired and other Print Handicapped Children
(Beatrice Christensen Sköld for IFLA), (online), available from
<www.ifla.org/IV/ifla65/papers/003-121e.htm>
 - Public Lending Right, (online), available from <www.plr-dpp.ca>,
<www.pch.gc.ca/progs/em-cr/eval/2003/2003_03/1_e.cfm>
 - University of Toronto, Faculty of Information Studies, Placement and Salary Survey, 2002, (online),
available from <plc.fis.utoronto.ca/resources/JobSite/GradSurvey/SalarySurvey.htm>
 - A World of Information: Creating Multicultural Collections and Programs in Canadian Public Libraries
(online), available from <www.collectionscanada.ca/multicultural/r25-210-e.html>

(地域情報については下記を参照)

- Canada: (online), available from <www.cia.gov/cia/publications/factbook/geos/ca.html>
- Toronto: 2001 Community Profiles, Statistics Canada, (online), available from
<www12.statcan.ca/english/profil01/PlaceSearchForm1.cfm>
- Japan: (online), available from <www.cia.gov/cia/publications/factbook/geos/ja.html>
- Tokyo: Tokyo Metropolitan Government (population: <www.metro.tokyo.jp/PROFILE/data.htm>, area
<www.toukei.metro.tokyo.jp/tnenkan/2002/tn02qyti0510a.htm>)

(シエイニー・クロフォード/Shaney Crawford)